

「ローカルファースト」が 日本を変える

2019.07
一般財団法人ローカルファースト財団

ローカルファーストとは

「ローカルファースト」

なんとなくどこかで聞いたことがあるような言葉。なんとなく意味もわかる。地域一番、地元優先、地産地消などと解釈することもできますが、それは一例です

「ローカルファースト」

これは、これからの社会を変えていくことのできる「価値観」であり、「ライフスタイル」の提唱、選択の基準、そして豊かさの本質を問う言葉でもあります。

地元企業が自分たちの住む「まち」の未来を考える時、いかに地域を理解しているか、まちの人、物、場所、文化などに愛情をもっているか、人々のニーズに寄り添い続けられるか、皆が真に豊かに暮らしている情景をきちんと想像できているかといったことが大切です。それを**導きだす価値観が「ローカルファースト」**だと考えます。

LOCAL FIRST ~ INTRODUCTION

少子高齢化が進み、さまざまな弊害が私たちの国に起こっている現状を受けて国は、近年「地方創生」という言葉で政策を進め、各地方自治体も地域産業の活性化や超高齢化社会に対応するまちづくりを目指し、様々な取り組みを開始しています。

しかし、これらの取り組みは、地域、各行政、あるいは一人一人の理解や解釈によって温度差があり、それぞれが各論で収束してしまうような事態があることも現実です。

日本の国は、どこか空回りをしてしまっています。

日本の国は、どこに向かって進んでいくのでしょうか。

将来を提示できていない日本の問題に対して、多くの国民が不安を抱いているように私たちにも、「どうにかしたい」という強い思いがありました。

私たちがこれから行っていくべきことは、为什么呢。

Introduction 国連の「世界幸福度ランキング 2018」

この調査は2012年から毎年行われているものです。

幸福度としては、国内総生産(GDP)などの数値のほか、

「困ったときに頼れる人がいますか」

「選択の自由があると思いますか」

などの質問の答えから出た答えをもとにして、過去3年の平均値を算出しています。

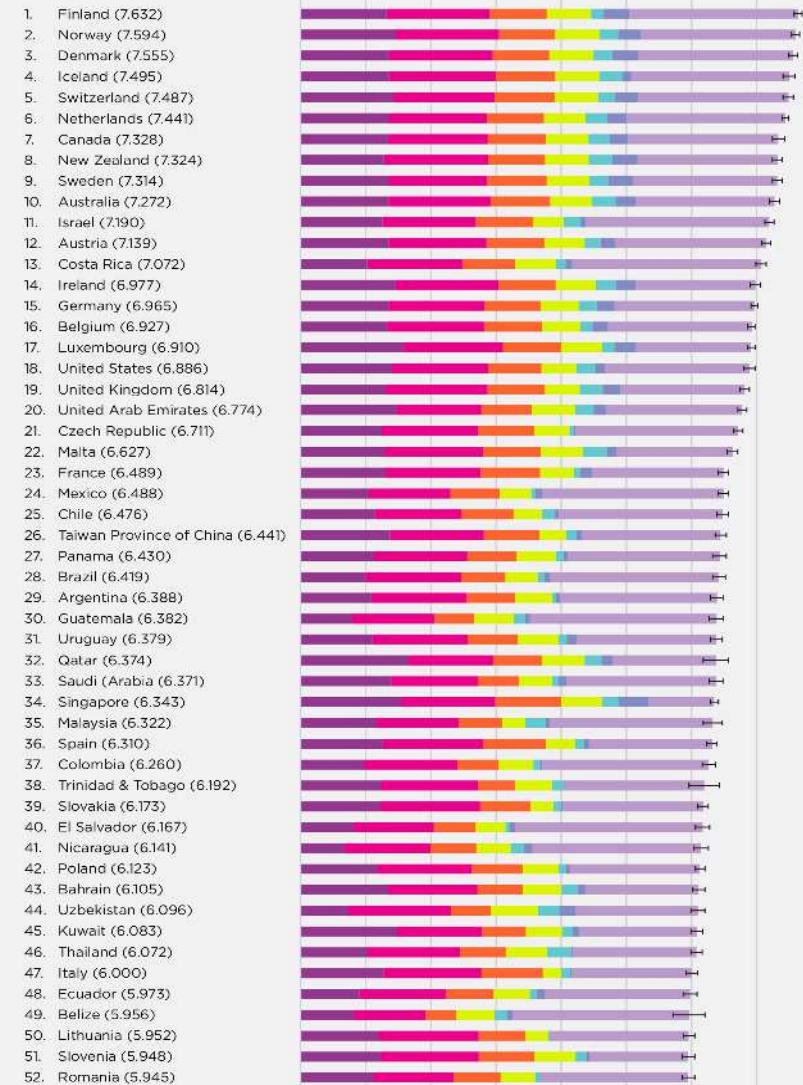
0～10を満点として算出した結果、北欧諸国が7を超える値でトップを占めています。

世界で一番幸福度が高い国となったのはフィンランドで去年の5位から躍進。

以下、ノルウェー、デンマーク、アイスランド、スイス、オランダ、カナダ、ニュージーランド、スウェーデン、オーストラリアと続きます。30位までの多くは欧州各国や中南米の国となっています。



Figure 2.2: Ranking of Happiness 2015-2017 (Part 1)



Introduction 国連の「世界幸福度ランキング 2018」

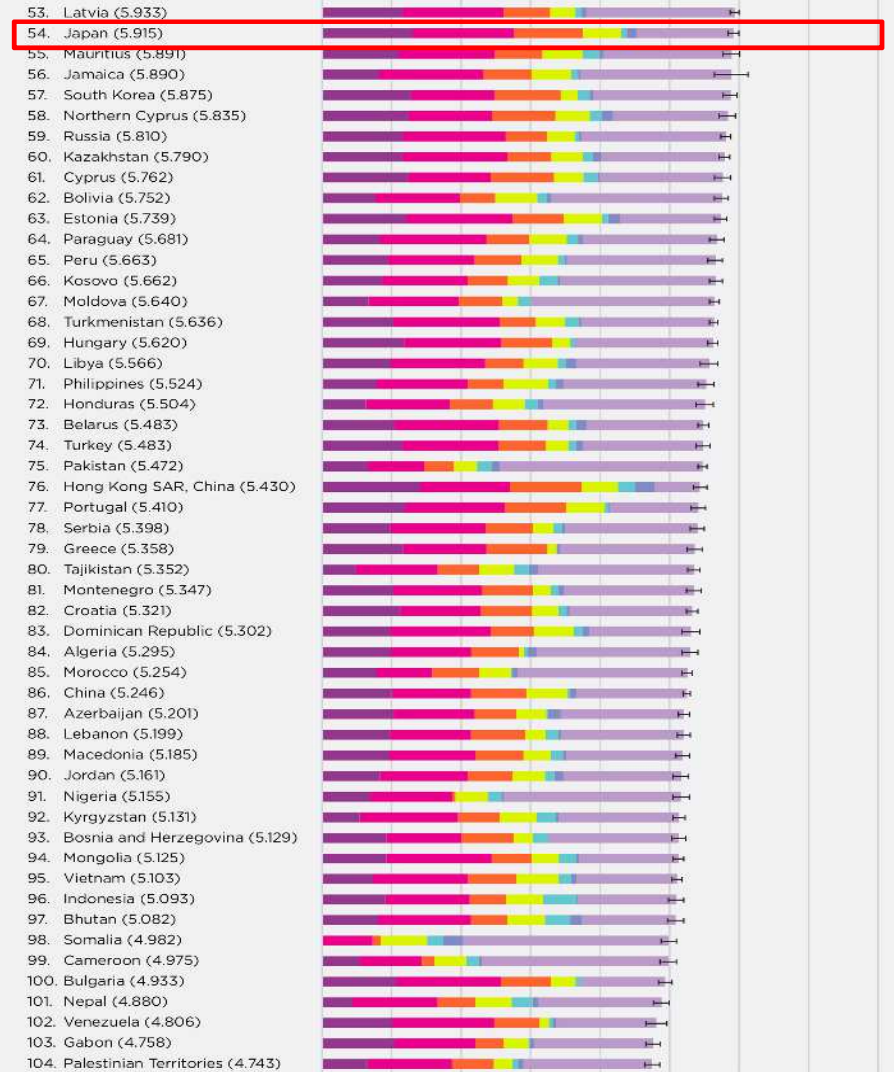
日本は156か国中、54位です。
G7の中では最下位の7位。
G20の中では12位です。

0～10満点とした指標で日本の平均値は5.9で54位となりました。過去のデータと比較した変化も見てみると日本はほぼ横ばい状態でした。

日本はGDPや健康寿命などの数値が高いわりに全体としての幸福度が低いのはなぜなのでしょう。



Figure 2.2: Ranking of Happiness 2015-2017 (Part 2)



日本の現状～課題先進国・日本

少子高齢化の加速度的進行
巨額な財政赤字
労働生産人口が減少
産業構造の変化
東京一極集中
格差社会
地方経済の疲弊
グローバル化の拡大

将来を見通せない
大きな不安

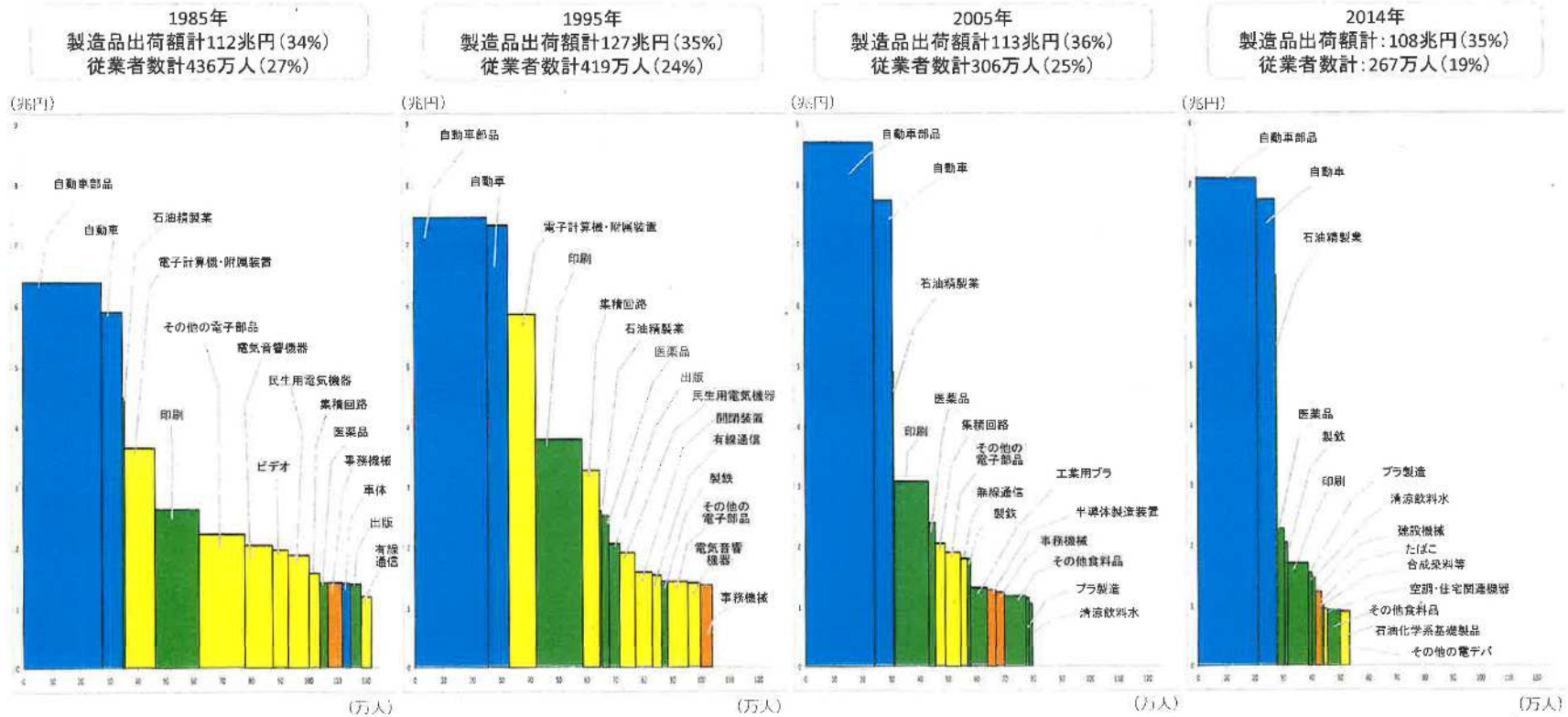
国も地方も将来のあるべき姿を提示できずにいること

関東経済産業局管内の産業構造の変化と直面する課題（製造業）

製造品出荷額の上位15業種の変遷をみると、80～90年代は多様な業種が支える構造であったが、2000年代に入ると電気機械の減少により、自動車関連のみ突出した構造に変化。多様性の確保がカギ。

■ 輸送機械 ■ 電気機械 ■ 機械工業 ■ その他

※（ ）内は上位15業種の占める割合



※縦軸は製造品出荷額（兆円）、横軸は従業者数（万人）

出典：工業統計（経済産業省）から関東経済産業局作成

「ローカルファースト」との出会い

日本が抱える課題の原因

少子高齢化は紛れもなくその大きな要素です。

かつての高度成長期が推進してきた大量生産、大量消費の構造は、私たちに「より安く、便利に」という価値観を植え付けてきました。

世の中に希望を見出しづらくなった市民が将来設計を描けなくなったとも言われます。

どうすればいいのでしょうか。

欧米のまちを訪ねると、豊かなまちがいくつもあることに気付きます。

「違いはなにか」

それを見て、考えて、探していくことが、以降旅のテーマになっていきました。

「ローカルファースト」との出会い

まちづくりのヒントやモデルを探して、「ビーチのあるまち」という茅ヶ崎との共通項のあるロサンゼルス、サンタモニカ、カーメル、サンディエゴなどの視察を重ねました。それぞれ「豊かさの本質」について考えさせられました。ポートランドでの経験は決定的でした。



「市街地に“ナショナルチェーン”が見当たらない」

最初こそ不便でも、それが「地域資本の店で買い物をして地域のレストランで食事をし、自分たちの手でまちを美しく保つ」というポートランドの人々の価値観、すなわち「ローカルファースト」が創り上げた形であると知りました。

「自分たちの町に愛情と誇りを持った選択と行動をする」

それが次世代への責任に繋がり、「生活の真の豊かさ」になると気づいたのです。

ローカルファーストとは

どこかで聞いたことがあるような、なんとなく意味もわかる言葉。地域一番、地元優先、地産地消などと解釈することもできます。が、それは一例です。これは、これからの社会を変えていける「価値観」であり、「ライフスタイル」の提唱、選択の基準、そして豊かさの本質を問う言葉でもあります。

私たちが「まち」の未来を考える時、いかに地域を理解しているか、まちの人、物、場所、文化などに愛情をもっているか、人々のニーズに寄り添い続けられるか、皆が真に豊かに暮らしている情景をきちんと想像できているかといったことが大切です。それを**導きだす価値観が「ローカルファースト」**だと考えます。

ローカルファーストとは、私たちの社会の殆どの問題を解決することができる

魔法の言葉 です

ローカルファーストとは

「パンをどこで買いますか？」

日常的な買い物は、どちらを優先しますか。

【A】コンビニや大手スーパー 【B】地元の商店やスーパー

【A】は、24時間利用できて、味などの商品規格も安定均一、大量流通で価格も想定内で、とにかく「便利」！しかしそこに払われたお金の殆どは首都圏にある運営企業や郊外の工場、原材料費は外国へ。流通コストも当然かかります。地元にはお金が落ちません。

【B】は【A】に比べて不便な点がいくつかあるかもしれませんが。しかし原材料を含めた生産者の顔を直接見ながら安心を一緒に買うことができます。支払った代金は確実に地域に回り経済を支えます。さらに人同士のコミュニケーションも生まれます。



ローカルファーストとは

「駅までどうやって行きますか？」

車、バス、バイク、自転車、徒歩・・・目的や事情によって使い分けていくことができます

駅前の混雑事情や安全面を考慮すると、公共交通機関を利用することも選択肢の一つ。

環境問題を考えれば、自転車や徒歩を選ぶことも大切です。時間や体力に余裕があれば、歩くことで見過ごしていた「まちの魅力」を発見できるかもしれません。

大切なのは「**何を選択するべきかをきちんと考えること**」。

便利さだけを優先した毎日の無意識の行動を見直して、地域に優しい選択をすることもローカルファーストです。



ローカルファーストが解決できることの例

アメリカオレゴン州ポートランド
「貯金は10,000ドルあれば十分リッチ！」



ローカルファーストが解決できることの例

サンフランシスコ
サンフランシスコには、
小売店への影響などを鑑みて
チェーン店出店規制があり、
まちなみや地元の
経済循環を守っている

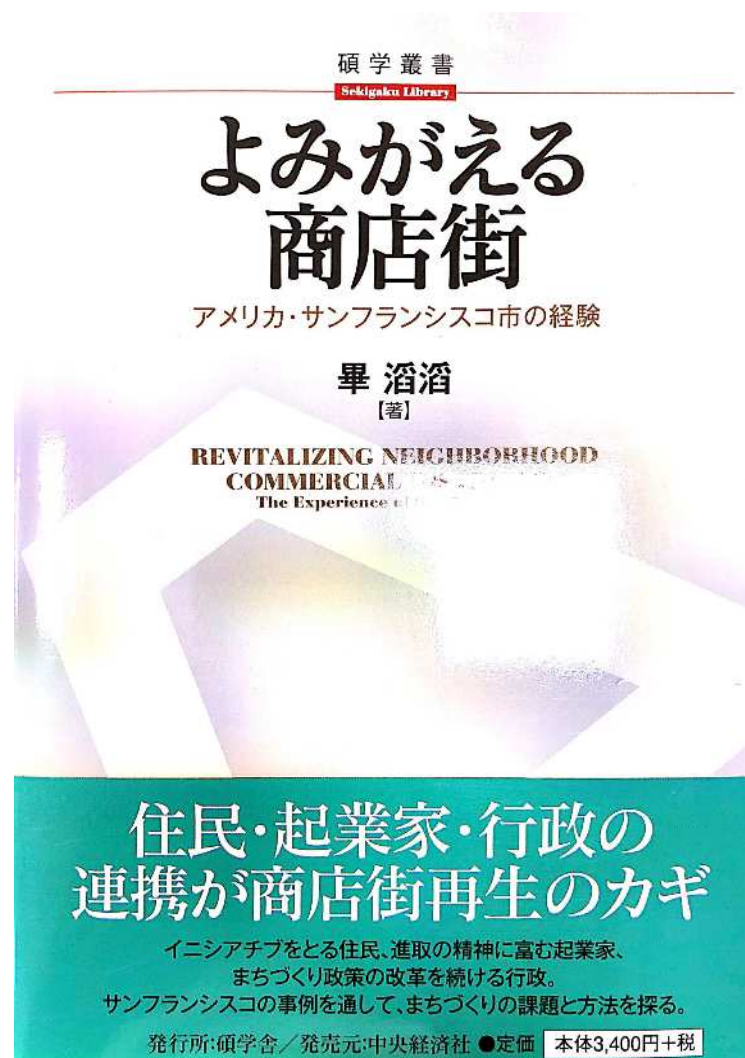
● 本書の構成

第Ⅰ部 理論編 商店街の衰退と再生

- 第1章 問題の所在:商店街の衰退と再生
- 第2章 日本の商店街の衰退
- 第3章 アメリカの都市部商業集積の衰退
- 第4章 アメリカの都市部商業集積の再生

第Ⅱ部 事例編 サンフランシスコ市の商店街

- 第5章 サンフランシスコの産業転換と都市再開発:
商店街を取り巻く環境の変化
- 第6章 カストロ通り商店街の事例研究
- 第7章 ヘイト通り商店街の事例研究
- 第8章 ヘイズ・ゴフ商店街の事例研究
- 第9章 サンフランシスコ港の震災復興と商店街の発展
- 第10章 サンフランシスコ市におけるチェーン店規制
- 終章 サンフランシスコ市の経験を学ぶ
- 付録 インタビューご協力者一覧



ローカルファーストが解決できることの例

サンフランシスコ
サンフランシスコの魅力ある地元スーパー



ローカルファーストが解決できることの例

欧州では店舗による商品のすみ分けを明確にして小売店をサポート。
大型店にしか置かない商品、小売店にだけしか置かない商品がある。



大手スーパーと小売りの市場が並んでいる
フランス・ピアリッツ

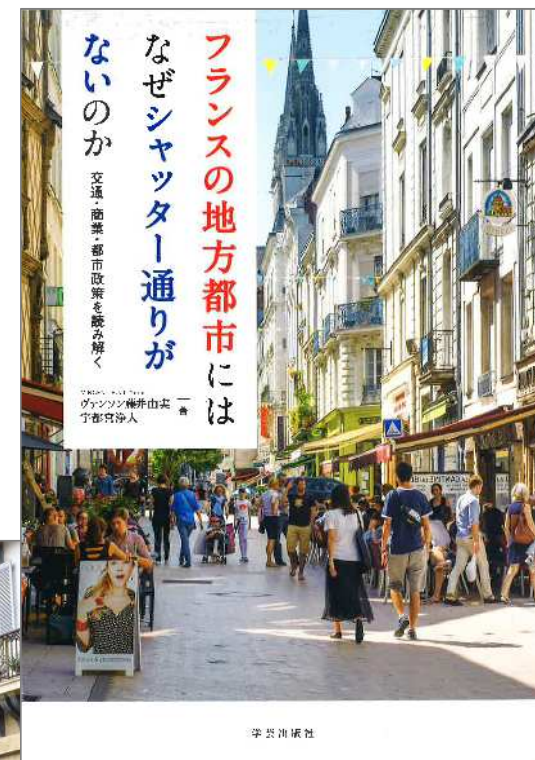


ローカルファーストが解決できることの例

仏・独などでは市街地の自家用者乗り入れを徹底的に規制。
トラムを導入し市民の足を確保したところ、まちなかの商店に活気が戻った。



【参考書籍】
ヴァンソン 藤井由実
/ 宇都宮浄人 著



ローカルファーストが解決できることの例

スペイン サンセバスチャン



ローカルファーストが解決できることの例

フランス ボルドー・ピアリッツ



ローカルファーストが解決できることの例



ローカルファーストが解決できること の例

ネッツ湘南トヨタ 海老名店
従来の販売店としての役割を見直し、
より「**地域の交流拠点**」となることを意義とした設計でリ
ニューアル。休日はマルシェの開催などで親子の来店が増
加。店舗としての売り上げも**約1.5倍**へ。



ローカルファーストが解決できることの例



資料～毎日新聞



地方銀行が生き残るということは地方経済が生き残るのと同義語だ。私の家業はもともと建設業だが、現在はグループ会社全体に占める建設業の割合は半分以下。地域に必要なものは何かを考えながら仕事をしていると、高齢者や福祉、食、健康に関わる事業が増えてくる。バブル経済が崩壊しようがリーマンショックが起きようが、地域に必要な仕事をしていれば堅い。そういう地に足が着いた事業を経営者と一緒に育てていくのが地銀の役割ではないか。

欧米の地方は豊かなのに日本の地方はなぜ疲弊しているのかと考えていた時に会ったのが「ローカルファースト」という価値観。米西海岸発祥の言葉で、「地域に役立つか」「住民に喜ばれるものなのか」といった物差しで価値を計り、豊かで元気な地域生活を生み出そうという考えだ。

例えば欧米の地方都市では、コンビニやファストフードのチェーン店を街中の商店街に立地させないように意識しているところがある。米西海岸を視察した際、サンタバーバラの人は「大手チェーン店が進出すると、昔からある地元の店が無くなり、町の個性や魅力が無くなるから」と言っていた。そこに住む理由、そこで働く理由は、町に魅力や個性があるからだと思う。魅力や個性があれば人が来るようになり、生活できるようになり、経済も動く。そういう循環が必要だ。お金も、地域の店で使えば、地域の中で循環する。

茅ヶ崎市でPFI(民間資金を活用した社会資本整備)によるスポーツ公園の建設・運営に参加している。私は、地元のことがよく分かっている地銀から融資を受けようと考えていたが、経験とノウハウが足りないということで結局、メガバンクと組むことになった。茅ヶ崎商工会議所の建て替えに際してホテルとタイアップできないかと検討している。神奈川県内のホテルの経営状況を調べて、業績の良し悪しの理由を教してほしいと地銀に頼んだが、なかなか回答が来ない。地域での店舗数はメガと比べて圧倒的に多く、情報も持っているはずなのに、活かせていない。宝の持ち腐れだ。

長崎県で地銀の経営統合が注目されているが、統合すれば投融資の決裁権者も減り、地域のサービスもネットワークも細る。企業として効率は上がるだろうが、地域からみれば選択肢が減るだけだ。今までは救済された弱者も切り捨てられてしまうのではないか。

高齢者施設向けに調理済み食材を販売する会社を7年前に立ち上げた。小さな施設では調理人を雇えず、支払える食費にも限界がある。食事は高齢者施設を運営するネックの一つで、それをお手伝いする仕事だ。当初は売り上げゼロが続いたが、今では月1億円以上になり充分な利益が出る。この事業に協力してくれたのも地銀でない。こういう仕事こそ地銀の役割ではないか。地域の魅力を高めるにはどのような店や事業が必要か。魅力を作る手助けをする、そんな視点はたくさんある。地域あってこそその地銀なのだから、より良いまちを創るにはどんな役割りを果たせるかを考えて欲しい。

2018.6.22 毎日新聞掲載

ローカルファーストを実践する

一般財団法人 ローカルファースト財団 設立の目的

私たちの社会は、大きな転換期のただ中にあります。グローバル化と情報化が急速に進展し、社会のあり方が多様化している中で、世界が体験したことのない長寿社会の到来に直面しています。日々の暮らしから、産業のあり方に至るまで、多くの課題が私たちを取り巻いています。多くの人が幸せと希望を感じられる社会をどのようにしてつくっていくのか、その方策、道筋が問われています。

私たちは、ローカルファーストの理念には、この大きな課題に根幹から立ち向かい、新たな地平を拓く力があると考えます。ローカルファーストという理念が、多くの人々の意識に働きかけることで、個々の人々の明日への意欲を目覚めさせ、新たな暮らしの価値観とライフスタイルを生み出し、さらには自らの手で新たな事業や産業を創出し、多世代が豊かに暮らす持続可能な社会をつくっていくことができると考えています。

本財団は、ローカルファーストという理念をより多くの人々に広め、語り合い、交流を広げ、新たな価値観によるライフスタイルを生み出すことで、地域に希望と活力をもたらし、持続可能な未来を拓き、健康で、明るく、豊かな社会をつくることを目的として、「一般財団法人ローカルファースト財団」を設立します。

ローカルファーストを実践する～財団・研究会の発足

ローカルファースト研究会は、発足以来、ローカルファーストの実践の場として様々な平成25年12月に書籍「ローカルファーストが日本を変える」(発行:東海大学出版会)を出版後、さらなる活動のために平成26年6月に設立した「一般財団法人ローカルファースト財団」とともに、より具体的な事業を推進するために発足しました。

研究会は、「ローカルファースト」という言葉、価値観を広めるため、会員の自主的な参加とサポートで様々な活動を展開しています。



研究会の母体は、2000年に湘南域青年会議所(藤沢、平塚、鎌倉、茅ヶ崎)を卒業したメンバーが立ち上げた「湘南スタイル研究会」です。生まれ育った湘南の未来を明るく充実したものにしようという目的で地域の有志が集い、自主的に講演や視察など様々な企画を立て活動しました。その後、「まちづくり」を考える会へと発展。現在のローカルファースト研究会に繋がっています。

ローカル
ファースト
を
実践する

ローカルファースト研究会主催 ローカルファーストシンポジウム

全8回 開催

- 第1回 「ローカルファーストが日本を変える」
- 第2回 「魅力あふれる“茅ヶ崎”のつくりかた」
講師：松本大地氏(株式会社商い創造研究所 代表取締役)
- 第3回 「あなたのライフスタイルが茅ヶ崎の未来を創る」
講師：藻谷浩介氏(株式会社日本総合研究所 主席研究員 他)
- 第4回 「ローカル経済が日本をつくる」地域との「共創」から見えてきた未来
講師：富山和彦氏(株式会社経営共創基盤 代表取締役CEO 内閣官房まち・ひと・しごと創生会議有識者 他)
- 第5回 「持続可能な新しいスタイルの再生まちづくり」～高松丸亀町商店街に学ぶ～
講師：古川康造氏(高松丸亀町商店街振興組合 理事長)
- 第6回 CHIGASAKI LOCAL FIRST TRIAL 「シェフズミーティング」
講師：田村なを子氏(アメリカオレゴン州ポートランドの自然食レストラン「Chef Naoko」シェフ)
- 第7回 「スポーツが健康なまちをつくる」
講師：奥寺康彦氏(株式会社フリエスポーツクラブ(横浜FC) 会長)
- 第8回 「新しいワークライフスタイルを実現する茅ヶ崎資本主義へ」
講師：柳澤大輔氏(面白法人カヤック代表取締役CEO) 2018年10月24日開催



ローカルファースト研究会 活動について



第1回 「ローカルファーストが日本を変える」

平成27年3月11日(水) 18時～20時 / 茅ヶ崎市民文化会館大ホール

パネリスト

- 秋山弘子 氏 (東京大学高齢社会総合研究機構 特任教授)
- 杉山愛 氏 (NPO法人パームインターナショナル湘南 理事長)
- 関幸子 氏 (株式会社ローカルファースト研究所 代表取締役)
- 松本大地 氏 (株式会社商い創造研究所 代表取締役)
- 平将明 氏 (元内閣府副大臣/自民党行政改革推進本部 副本部長)
- 服部信明 氏 (茅ヶ崎市長)
- 益永律子 氏 (NPO法人NPOサポートちがさき 代表理事)
- 都築佑介 氏 (公益社団法人茅ヶ崎青年会議所 2015年度理事長)
- 杉本洋文 氏 (東海大学工学部建築学科 教授/
一般財団法人ローカルファースト財団 副理事長)

総合司会 KANA (FMヨコハマDJ) / コーディネーター 亀井信幸(一般財団法人ローカルファースト財団理事長)
入場者 1020名 アンケート回答数 422件



出版1周年記念シンポジウム ローカルファーストが日本を変える

「ローカルファースト」という言葉には

- 人生を元気に楽しく幸せにする力があります。
- まちを明るく豊かにする力があります。
- 未来への夢を描き、希望を溢れさせる力があります。

「ローカルファースト」という価値観で暮らすことは、心にも身体にも優しい。地域を大切に思うことは、私たちの豊かな未来へとつながります。

登壇者のご紹介

杉山 愛氏
NPO法人 パンインターナショナル 湘南 理事長
スポーツキャスター、元プロテニスプレイヤー、17歳でプロに転身し、34歳までプロツアーを転戦。2010年、第1回ニュースオリンピックでは日本人で唯一「アスリートロールモデル」に就任し世界中の若手選手に指導的役割を果たす。杉山愛ジュニア育成基金を立ち上げ、16歳以下の女子選手をサポートする「Road to Grand Slam」プロジェクトを奨励させる。

秋山 弘子氏
東京大学高齢社会総合研究機構 特任教授 一般職
ローカルファースト 顧問
ジェントロロジー（老年学）の我が国における第一人者。超高齢社会におけるよりよい生のありかたについて研究を続ける。茅ヶ崎市の「豊かな長寿社会に向けたまちづくり有識者会議」の会長であり、積極的にまちづくりに取り組む。

関 幸子氏
株式会社 ローカルファースト研究所 代表取締役
地域活性化に関する関係機関や地産地消プラットフォームワーキングチームメンバー。2009年に株式会社ローカルファースト研究所を設立し、地域資源を活かした地域産業創出の支援に取り組むほか、まちづくりに関する多方面の事業で活躍。

松本 大地氏
株式会社 商い創発研究所 代表取締役
まちづくり、商業施設のマーケティング、ブランディング、業態開発、プロデュースなどで全国的に活躍。2007年に高い創造研究所を設立。また、昨今注目の集まるアメリカ・ボートランドにいち早く着目し、その研究、案内で知られている。

平 将明氏
内閣府副大臣
衆議院議員、内閣府副大臣として地方創生、国家戦略特区、クールジャパン戦略等を担当。仲間業の三代目として経営に取り組み中。国の金融政策に課題を感じ、東京青年会議所へ入会。2005年には衆議院議員選挙に出馬し初当選した。経済産業大臣、内閣府大臣の政務官も務め、顧問への取り組みが高く評価されている。

服部 信明氏
茅ヶ崎市長
平成15年に茅ヶ崎市長となり、現在3期目。座右の銘は「初心忘るべからず」。昨年はボノル市・都との姉妹都市提携。今年は豊かな長寿社会に向けたまちづくりをスタートさせ、地域の力を元にしたまちづくりに全力で取り組む。

益永 律子氏
NPO法人 NPOサポートちがさき 代表理事
37年前、公民館の子育て講座の参加を機に以後、子ども、福祉、まちづくり活動などの取り組みを行う。現在NPO法人、NPOサポートちがさき代表理事・事務局長。多様な人が軽やかに集がり、新しい価値や化学反応が日々生まれる茅ヶ崎をこよなく愛する。

都築 佑介氏
公益社団法人 茅ヶ崎青年会議所 理事長
中学の頃から始めたサーフィンは世界ジュニア大会で入賞する原動力。大会等国内外の元気を運んで茅ヶ崎の良さを発信。今期の茅ヶ崎青年会議所理事長に就任し、「Big smile for the future! Chigasaki is the big family!」をスローガンに子供たちがたくさんの夢を描けるまちづくりに臨む。

杉本 洋文氏
一般職
ローカルファースト 顧問 建築家
茅ヶ崎工科大学建築学 教授
まちづくり、都市デザイン、木造建築を主眼とする研究分野に多方面で活躍。内閣府、神奈川県、茅ヶ崎市など政府・自治体で多くの委員会に参画するとともに、商店街のアドバイザーをつとめる。木造建築では日本を代表するデザイナー、研究者。

出版1周年記念シンポジウム ローカルファーストが日本を変える

茅ヶ崎から発信する
新しいまちづくりのカタチ

ローカルファーストは
人生を楽しく生きる「魔法の言葉」

2015年
3月11日(水)
会場：茅ヶ崎市民文化会館 大ホール
時間：17:00～19:00
(16:30開場)

入場無料
(先着順)



杉山 愛氏



秋山 弘子氏



松本 大地氏



関 幸子氏



平 将明氏



服部 信明氏



益永 律子氏



都築 佑介氏



杉本 洋文氏



お問い合わせ ローカルファースト研究会
TEL.0467-57-8100
お申し込み 本チラシ裏面に記入の上、FAX・WEB
から行うことも
QRコード
詳細は
ローカルファースト研究会
事務局までお問い合わせください

主催 ローカルファースト研究会 協賛 神奈川県・茅ヶ崎市長官舎・茅ヶ崎市・茅ヶ崎市商工会連合会・茅ヶ崎市商工会連合会・茅ヶ崎市商工連合会・茅ヶ崎市商工連合会・茅ヶ崎市商工連合会・茅ヶ崎市商工連合会
共催 茅ヶ崎市商工連合会・茅ヶ崎市商工連合会・茅ヶ崎市商工連合会・茅ヶ崎市商工連合会・茅ヶ崎市商工連合会・茅ヶ崎市商工連合会
後援 茅ヶ崎市商工連合会・茅ヶ崎市商工連合会・茅ヶ崎市商工連合会・茅ヶ崎市商工連合会・茅ヶ崎市商工連合会・茅ヶ崎市商工連合会
協賛 茅ヶ崎市商工連合会・茅ヶ崎市商工連合会・茅ヶ崎市商工連合会・茅ヶ崎市商工連合会・茅ヶ崎市商工連合会・茅ヶ崎市商工連合会
協賛 茅ヶ崎市商工連合会・茅ヶ崎市商工連合会・茅ヶ崎市商工連合会・茅ヶ崎市商工連合会・茅ヶ崎市商工連合会・茅ヶ崎市商工連合会
協賛 茅ヶ崎市商工連合会・茅ヶ崎市商工連合会・茅ヶ崎市商工連合会・茅ヶ崎市商工連合会・茅ヶ崎市商工連合会・茅ヶ崎市商工連合会



ローカルファースト研究会 活動について

第2回 「魅力あふれる『茅ヶ崎』のつくりかた」

平成27年10月23日(金) 18時～20時
茅ヶ崎市民文化会館小ホール

講師 松本大地氏
(株式会社商い創造研究所 代表取締役)

入場者 400名
アンケート回答数 237件



Local First ローカルファースト研究会主催
ローカルファーストシンポジウム

魅力あふれる「茅ヶ崎」のつくりかた

全米「住みたいまち」No.1に輝いた茅ヶ崎のつくりかたを、茅ヶ崎市民文化会館小ホールで開催。茅ヶ崎の魅力あふれるまちづくりのつくりかたを、茅ヶ崎市民文化会館小ホールで開催。茅ヶ崎の魅力あふれるまちづくりのつくりかたを、茅ヶ崎市民文化会館小ホールで開催。

2015年10月23日(金) **入場無料**

会場: 茅ヶ崎市民文化会館 小ホール
時間: 18:00～20:00 (17:30開場)

講師: 株式会社 商い創造研究所 代表取締役 松本 大地氏

茅ヶ崎市民文化会館小ホール 茅ヶ崎市民文化会館小ホール 茅ヶ崎市民文化会館小ホール

【お問い合わせ】 0467-57-8100

茅ヶ崎市民文化会館小ホール 茅ヶ崎市民文化会館小ホール 茅ヶ崎市民文化会館小ホール

ローカルファースト研究会 活動について

第3回 「あなたのライフスタイルが 茅ヶ崎の未来を創る」

平成28年3月24日(木) 18時～20時
茅ヶ崎市民文化会館小ホール

講師 藻谷浩介氏
(株式会社日本総合研究所 主席研究員他)

入場者 400名
アンケート回答数 230件



ローカルファースト研究会主催
第3回 ローカルファーストシンポジウム

あなたのライフスタイルが
茅ヶ崎の未来を創る
—— データから見えるまちの姿 ——

Local First

入場 無料

2016年3月24日(木)
会場:茅ヶ崎市民文化会館 小ホール
時間:18:00～20:00 (17:30開場)

講師 「里山資本主義」著者
も た に こ う す け
藻谷 浩介 氏

お問い合わせ ローカルファースト研究会
TEL.0467-57-8100

お申し込み WEB・ハガキ・FAXにて応募

右記QRコードへアクセス申し込みフォームから、
ハガキは〒110-8555 東京都千代田区千代田1-1-1 日本総合研究所にてお申し込みください。
〒110-8555 東京都千代田区千代田1-1-1
ローカルファースト研究会 シンポジウム事務局 宛(申込必着)

主催)ローカルファースト研究会 協賛)茅ヶ崎市民文化会館・茅ヶ崎青年会議所・茅ヶ崎商工会議所・茅ヶ崎市環境協会・茅ヶ崎市観光協会・茅ヶ崎市農協・茅ヶ崎市商工会
後援)茅ヶ崎市・茅ヶ崎市民文化会館・茅ヶ崎市環境協会・茅ヶ崎市観光協会・茅ヶ崎市農協・茅ヶ崎市商工会・茅ヶ崎市青年会議所・茅ヶ崎市商工会議所・茅ヶ崎市農協
協賛)茅ヶ崎市環境協会・茅ヶ崎市観光協会・茅ヶ崎市農協・茅ヶ崎市商工会・茅ヶ崎市青年会議所・茅ヶ崎市商工会議所・茅ヶ崎市農協
一般財団法人ローカルファースト研究会 (代表)

主催)日本総合研究所 主席研究員
特別日本政策投資銀行 地域広域部 特任顧問 (非常勤)
特定非営利活動法人ComPus地球健康支援ネットワーク 理事長 (兼特別)
山口県生まれの51歳。平成合併前3,200市町村のすべて、海外72ヶ国
をほぼ巡業で訪問し、地域特性を多角的に把握。2000年より、地域
循環や人口問題に関し、科学的に研究・著作・講演を行う。2012年
より現職。近著に「デフレの正体」第七回読者大賞を受賞した「里山資
本主義」(共に角川 One テーマ 21)、「金儲けの道」(集英社新書)、
「しなやかな日本列島のつくりかた」(新築社、7名の方との対談集)。

www.localfirst.jp
WEB申し込み
フォームへアクセス

ローカルファースト研究会 活動について

第4回 「ローカル経済が日本をつくる」 地域との「共創」から見えてきた未来

平成28年9月14日(水)18時～20時
茅ヶ崎市民文化会館小ホール

講師 富山和彦氏
(株式会社経営共創基盤 代表取締役CEO
内閣官房まち・ひと・しごと創生会議有識者 他)

入場者 400名
アンケート回答数 223件



ローカルファースト研究会主催
第4回 ローカルファーストシンポジウム

Local First

地域との「共創」から見えてきた未来

ローカル経済が日本をつくる

入場無料

2016年9月14日(水)
会場：茅ヶ崎市民文化会館 小ホール
時間：18:00～20:00 (17:30開場)

と やま かず ひこ
講師 **富山和彦氏**

株式会社経営共創基盤 (IGPI) 代表取締役CEO
オムロン株式会社取締役 びあも社外取締役
株式会社みちのりホールディングス取締役
経済同友会副代表幹事 内閣官房まち・ひと・しごと創生会議有識者 他

1960年生まれ、東京大学法学部卒、スタンフォード大学経営学修士(MBA)、司法試験合格、ホ
ストコンサルティンググループ、コーポレートディレクション代表取締役を経て、2003年に高度
産業主権確立時に豊前COOに就任、解散後、IGPIを設立、数多くの企業の経営改革や成長
支援に携わり、現在に至る。取締役を務める株式会社リホールディングスの傘下に湘南モデル
もある。著書に「ビッグチャンス」「IGPI流 ビジネスプランニングのリアルノウハウ」などあり
「地方消滅 創生戦略」他

著書「なぜローカル経済から日本は起るのか G19ローカル」とし「ローカル」の経済成長戦略」は
「地方創生、
ローカル・アベノミクスの
教科書」として大注目!

お問い合わせ ローカルファースト研究会
TEL.0467-57-8100

お申し込み WEB・ハガキ・FAXにて応募

最新ロードマップを申し込むフォームから、
ハガキやメール(※印刷)で応募を申し込みして下さい。

申込フォームをダウンロードください。
TEL:0462-5422 事務局(課外時間0～11)
ローカルファースト研究会 シンポジウム事務局 (申込先着順)

www.local-first.jp
WEB申し込み
フォームはこちら

主催 ローカルファースト研究会 協賛 神奈川県茅ヶ崎市長 茅ヶ崎市工業振興会 茅ヶ崎市観光協会 茅ヶ崎市観光協会 茅ヶ崎市商工会 茅ヶ崎市青年会議所 茅ヶ崎市商協連合会
茅ヶ崎市商協連合会 茅ヶ崎市商協連合会 茅ヶ崎市商協連合会 茅ヶ崎市商協連合会 茅ヶ崎市商協連合会 茅ヶ崎市商協連合会 茅ヶ崎市商協連合会 茅ヶ崎市商協連合会
茅ヶ崎市商協連合会 茅ヶ崎市商協連合会 茅ヶ崎市商協連合会 茅ヶ崎市商協連合会 茅ヶ崎市商協連合会 茅ヶ崎市商協連合会 茅ヶ崎市商協連合会 茅ヶ崎市商協連合会

ローカルファースト研究会 活動について

第5回 「持続可能な新しいスタイルの 再生まちづくり」 ～高松丸亀町商店街に学ぶ～

平成29年2月16日(木) 18時～20時
茅ヶ崎市民文化会館小ホール

講師 古川康造氏
(高松丸亀町商店街振興組合理事長 / 丸亀町不動産
株式会社代表取締役社長 / 高松ライフシステム株式会社
代表取締役)

入場者 400名
アンケート回答数 186件



第5回 ローカルファースト研究会主催
ローカルファーストシンポジウム

Local First

持続可能な新しいスタイルの
再生まちづくり
～高松丸亀町商店街に学ぶ～

豊かなまち社会のモデル
香川県高松市丸亀町を
まちぐるみの仕組みで
再生先をまわりたいまちに生まれ
アイデアが活躍の場をひろく!

2017年2月16日(木)
会場: 茅ヶ崎市民文化会館 小ホール
時間: 18:00～20:00 (17:30開場)

入場無料

講師
古川 康造氏
香川県丸亀町商店街振興組合理事長
丸亀町不動産株式会社代表取締役社長
高松ライフシステム株式会社代表取締役

お問い合わせ: 0467-57-8100
WPR・ハガキ・FAXにて可

Local First

Local First研究会 (代表) 事務局: 丸亀町丸亀町商店街振興組合理事長 古川康造氏
〒760-0001 香川県丸亀市丸亀町丸亀町商店街1丁目1番1号 丸亀町丸亀町商店街振興組合理事長 古川康造氏
TEL: 0467-57-8100 FAX: 0467-57-8101

Local First研究会 (代表) 事務局: 丸亀町丸亀町商店街振興組合理事長 古川康造氏
〒760-0001 香川県丸亀市丸亀町丸亀町商店街1丁目1番1号 丸亀町丸亀町商店街振興組合理事長 古川康造氏
TEL: 0467-57-8100 FAX: 0467-57-8101

ローカルファースト研究会 活動について

(第6回) CHIGASAKI LOCAL FIRST TRIAL 「シェフズミーティング」

生産する人、料理する人、食べる人、みんなの想いが
茅ヶ崎の「おいしい」を紡ぎ出す

平成29年10月12日(木)18時～20時 / 茅ヶ崎市コミュニティホール

基調講演: 田村なを子 氏 (アメリカオレゴン州ポートランドの自然食レストラン「Chef Naoko」シェフ)

シンポジウム: 鳥海 勝氏 (フレンチレストラン ラ・ターブル・ド・トリウミ シェフ)
熊澤茂吉氏 (熊澤酒造株式会社 代表取締役)
原 浩仁氏 (株式会社たまや 代表取締役)
伊藤英世氏 (茅ヶ崎伊藤農園)

入場者 302名



ローカルファースト研究会 主催

Local First

CHIGASAKI LOCAL FIRST TRIAL

茅ヶ崎ローカルファーストライアル

その1 シェフズミーティング

生産する人、料理する人、食べる人、みんなの想いが茅ヶ崎の「おいしい」を紡ぎ出す

入場無料

開催日 10月12日(木) 時間:18:00~20:00

会場:茅ヶ崎市コミュニティホール(茅ヶ崎市役所 分庁舎6階)

基調講演 田村なを子 さん
アメリカオレゴン州ポートランドの自然食レストラン「Chef Naoko」シェフ

シンポジウム
【パネリスト】

鳥海 勝さん (ラ・ターブル・ド・トリウミ シェフ)
熊澤茂吉さん (熊澤酒造株式会社 代表取締役)
原 浩仁さん (株式会社たまや 代表取締役)
伊藤英世さん (茅ヶ崎伊藤農園 代表)

スポンサー: 鳥井泰人(ローカルファースト研究会)

参加申し込みは、裏面の申込用紙をご利用ください

Local First For Tomorrow

9月21日(木) 時間:14:00~16:00 「おいしい話」と「おいしい食」の企画

10月6日(金)・10日(火) 時間:10:00~12:00 ちがさきぐるぐるグルメ

10月8日(日) 時間:10:00~16:00 浜見平「LOCAL FIRST」同窓会イベント

FM30ハマ 毎週日曜日 午後3:50~放送中

QRコード

【主催】ローカルファースト研究会 【後援】 茅ヶ崎市・茅ヶ崎町・茅ヶ崎工業団地・一般社団法人茅ヶ崎観光協会・公益社団法人茅ヶ崎青年会議所・茅ヶ崎商工会連合会
茅ヶ崎商會連合会・神奈川新聞社・FM30ハマ・COM茅ヶ崎・茅ヶ崎リビング協賛社・タウンニュース社・FMFM茅ヶ崎・茅ヶ崎観光協会・茅ヶ崎観光協会
一般社団法人ローカルファースト研究会 他(順不同)

ローカルファースト研究会 活動について

第7回 「スポーツが健康なまちをつくる」

平成30年2月21日(水) 18時～20時

茅ヶ崎市コミュニティホール 茅ヶ崎市役所分庁舎6階

講師 奥寺 康彦 氏

(一般社団法人横浜FCスポーツクラブ代表理事

株式会社横浜フリエスポーツクラブ(横浜FC)会長

元ブンデスリーガプロサッカー選手(日本人初)

入場者 320名

アンケート回答数 190件



ローカルファースト研究会主催
第7回 ローカルファーストシンポジウム



スポーツが健康なまちをつくる

2018年2月21日(水)
会場:茅ヶ崎市コミュニティホール 茅ヶ崎市役所
分庁舎6階
時間:18:00~20:00 (17:30開場)



日本人初のプロサッカー選手として
世界で活躍!
湘南に文化交流拠点を!
スポーツをもっと気軽に、芸術をもっと身近に。



講師 奥寺 康彦 氏
株式会社横浜フリエスポーツクラブ(横浜FC) 会長
1977年、旧西ドイツの名門チーム「FCケルン」から日本人初のプロサッカー選手としてデビュー。日本で初めて「世界に通用するプロサッカー選手」が誕生した。ブンデスリーガ(西ドイツ)第1部に所属した25試合に出場し、25得点をあげている。ヨーロッパサッカー選手権大会の西ドイツ代表入りも経験した。1990年に帰国して、茅ヶ崎でプロサッカー選手となる。現役を引退後、東日本古河サッカークラブ(ジエフユナイテッド市原)のゼネラルマネージャーに就任。同チームのスーパーバイザー、監督を務め、サッカー解説者として活躍する。2002年ワールドカップ・横浜開催権獲得などを始める。一般社団法人横浜フリエスポーツクラブ代表理事 株式会社横浜フリエスポーツクラブ会長

【パネリスト】

 眞壁 謙氏 株式会社湘南ベルマーレ 代表取締役会長	 乃羽ひとみ氏 児童養護施設「希望の丘」 元 茅ヶ崎市教育委員会 委員	 杉山 美沙子氏 ハム・イン・タマゴホテルニース 「アカデミー」 校長
--	---	---

入場無料

お問い合わせ TEL.0467-57-8100
お申し込み WEB・ハガキ・FAXにて応募

お申し込みフォームはこちら
ハガキは、住所・氏名・電話番号を記入して下記へご郵送ください。
〒253-0392 茅ヶ崎市原野 2-1-10
ローカルファースト研究会 シンポジウム事務局 宛(ゆうちょ振替)

【主催】ローカルファースト研究会【協賛】茅ヶ崎市・茅ヶ崎市観光協会・茅ヶ崎市教育委員会・茅ヶ崎市文化財団・茅ヶ崎市市民生活文化センター・茅ヶ崎市市民交流センター・茅ヶ崎市市民体育館・茅ヶ崎市市民会館・茅ヶ崎市市民会館・茅ヶ崎市市民会館・茅ヶ崎市市民会館・茅ヶ崎市市民会館・茅ヶ崎市市民会館

ローカルファースト研究会 活動について

第8回 新しいワークライフスタイルを実現する 茅ヶ崎資本主義へ

平成30年10月24日(水) 18時～20時
茅ヶ崎市民文化会館 小ホール

講師 柳澤 大輔 氏
(面白カヤック代表取締役CEO)

入場者 389名
アンケート回答数 240件



第8回 ローカルファースト研究会主催
ローカルファーストシンポジウム

新しいワークライフスタイルを実現する
茅ヶ崎資本主義へ

2018年10月24日(水)
会場: 茅ヶ崎市民文化会館 小ホール
時間: 18:00～20:00 (17:30開場)

講師
柳澤 大輔 氏
面白カヤック代表取締役CEO

経済的な富を積み上げ、求めるのではなく、
自然や歴史文化など本来の魅力を活かして、
地域ならではの価値を生み出す。

入場無料

「鎌倉資本主義」
地域がそれぞれの特色を生かしながら地域固有の魅力を最大化し発展するための取り組みとして、積極的に取り組む企業や団体に共創で「まちの社会資本」まちの良質を「まちの人間力」が立ちあがっている。

お問い合わせ ローカルファースト研究会
TEL.0467-57-8100

お申し込み WEB・ハガキ・FAXにて応募

右記用コードへアクセスし申し込みフォームから。
ハガキ申請 住所・氏名(ふりがな)・年齢を記載して下記へ郵送ください。
FAXは必ず書面に記載ください。
〒254-1112 神奈川県茅ヶ崎市民文化会館 2F
ローカルファースト研究会 シンポジウム事務局 (受付申込係)

www.local-first.info
お問い合わせ
フォームへQRコード

主催 ローカルファースト研究会 後援 茅ヶ崎市民文化会館・茅ヶ崎商工会連合会・茅ヶ崎市観光協会・茅ヶ崎市商工連合会・茅ヶ崎市観光協会
茅ヶ崎市民文化会館・茅ヶ崎市民文化センター・茅ヶ崎市民文化センター・茅ヶ崎市民文化センター・茅ヶ崎市民文化センター・茅ヶ崎市民文化センター
一般社団法人茅ヶ崎市観光協会・茅ヶ崎市観光協会・茅ヶ崎市観光協会・茅ヶ崎市観光協会・茅ヶ崎市観光協会・茅ヶ崎市観光協会
一般社団法人ローカルファースト研究会

ローカル ファースト を 実践する

熱いメッセージいっぱいのライフスタイルマガジン!

茅ヶ崎 ローカルファースト ジャーナル

「ローカルファースト」という言葉をめぐりながら茅ヶ崎に生きる人たちの熱いメッセージを集め、新しい茅ヶ崎を、茅ヶ崎の新しいライフスタイルを、私たちの手で作り出す。そんな想いを込めて「茅ヶ崎ローカルファーストジャーナル」を発刊しています。

- 第1号 「食」がまちを変えている。
- 第2号 「ストリート」がまちを変えていく。
- 第3号 「お店」がまちをつかっていく。
- 第4号 ローカルスーパー」がコミュニティをつくる。
- 第5号 ローカルファーストが「居場所」をつくる。
- 第6号 ローカルファーストがつくる「食」のまち。
- 第7号 ローカルファーストでスポーツコミュニティを育む。
- 第8号 文化とライフスタイルがつくるローカルファーストなまち。



ローカルファーストジャーナルをご希望の方はローカルファースト研究会までお問合せください。 TEL 0467-57-8100
ローカルファースト研究会のホームページから電子化データで読むこともできます。 <http://www.local-first.info>





「ローカルファースト」という言葉には

- 人生を元気に楽しく幸せにする力があります。
素敵なライフスタイルを教えてください。
- まちを明るく豊かにする力があります。商店街は活気づき人々の笑顔であふれます。持続可能な長寿社会が実現できます。
- 未来への夢を描き、希望を溢れさせる力があります。

そんな「ローカルファースト」の力を物語るエピソードを紹介します。

長谷川書店で本を買った。
「君、なん年生？」ってレジのおじいさんが声をかけてくる。
「中学1年生です。」
買ったのは英検3級の問題集です。

「君が受けるの?」「小学校から受け始めたの?」
「中学入ってからです。」
すると、「君すごいね!」「えらいね!」「がんばってね!」って、
そのおじいさんが声をかけてくれたんだよ、ママ。



子どもが嬉しそうに話します。
ネット通販では得られない温かい言葉でした。
親の10回の「勉強しなさい!」より、ずっと効き目のある言葉だと思いませんか?
コミュニケーションこそが、商店の良さであると実感しました。

これは茅ヶ崎市内のAさんから寄せいただいたものです。
これこそがローカルファーストです。
まちや商店街を元気にするローカルファーストエピソード。
ぜひ皆さんも右宛先にお寄せください。
みんなの力でまちを元気にしていきましょう。

宛先 ローカルファースト研究会ジャーナル編集部
住所 〒253-0052 神奈川県茅ヶ崎市幸町5-8-103
TEL:0467-57-8100 FAX:0467-84-5610
メールアドレス localfirst@softbank.jp
URL <http://www.local-first.info>

茅ヶ崎から新しいライフスタイルの提案

ローカルファーストが日本を変える

定価(本体1,800円+税)

ジェロントロジーの第一人者
東京大学高齢社会総合研究機構
秋山 弘子 特任教授 推奨

編 著 ローカルファースト研究会
発行所 東海大学出版会
〒257-0003 神奈川県茅ヶ崎市藤原町3-10-35
東海大学図書会館内 TEL.0463-79-3921 FAX.0463-69-5087



全国書店にて販売中



2015年3月11日発行
茅ヶ崎ローカルファーストジャーナル創刊号 ローカルファースト研究会発行 発行人 遠野真澄
本書は「神奈川県地域商業ブランド確立総合支援事業」の支援をうけて発行しております。

茅ヶ崎

ローカルファーストジャーナル

2015
Vol.1
創刊号

「食べて」「買って」「考えて」「新しい茅ヶ崎をつくりだす。」

熱いメッセージいっぱいのライフスタイルマガジン!

「食」がまちを変えている。



食べて
Eat Local
買って
Buy Local
そして 考えよう。ローカルファーストを!
Think Local First

「ローカルファースト」という言葉をめぐりながら
茅ヶ崎に生きる人たちの熱いメッセージを集め新しい茅ヶ崎を、
茅ヶ崎の新しいライフスタイルを、私たちの手で作ります。
そんな想いを込めて「茅ヶ崎ローカルファーストジャーナル」を創刊します。

【ジャーナル発行の想い】

消費を生み出す事業者、消費の中心にいる主婦(ママ)、
そして未来の事業と消費を担っていく子どもたち。
3つのグループに焦点を当て、ワークショップと
グループディスカッションを重ね、このジャーナルを完成させました。
まちを作っているのは誰なのか、主婦の選択肢とは何なのか、
子どもたちに伝えていくべきことは・・・。
「ローカルファースト」とは豊かな選択肢の提案です。
誰のものでもない、茅ヶ崎発の考え方。
それぞれの感じた「ローカルファースト」で、
茅ヶ崎のまちをもっと楽しくしていきませんか?
茅ヶ崎オリジナルのライフスタイルを提案しませんか?
「ローカルファースト」は魔法の言葉です。是非皆さんも使ってみてください。
「ローカルファースト」を合言葉に一つになりましょう!

CONTENTS

- 【茅ヶ崎「食」のワークショップ①】
個性的な「食」の店が茅ヶ崎を変えている。
- 【ポートランドの幸福度が高くなる食のローカルファースト】
- 【茅ヶ崎「食」のワークショップ②】
それぞれの店に歴史とこだわりがある。
- 【ママたちのメッセージ】
ママたちをつかむことで、まちは変わっていく
- 【子供たちとローカルファーストなお金の使い方を考える】
- 【大学生によるローカルファースト・ワークショップ】
- 【茅ヶ崎の自然と生きる人たちの、海と山の「言葉」】
- Information
茅ヶ崎ローカルファースト・シンポジウム
茅ヶ崎・ホノルル姉妹都市・交流特命大使・平田梨花さんのメッセージ
本誌作成にご協力いただいた方々
茅ヶ崎ローカルファーストエピソード



「ローカルファースト」という言葉には

- 人生を元気に楽しく幸せにする力があります。素敵なライフスタイルを教えてください。
- まちを明るく豊かにする力があります。商店街は活気づき人々の笑顔であふれます。持続可能な長寿社会が実現できます。
- 未来への夢を描き、希望を溢れさせる力があります。

次回予告 **第3回** ローカルファーストシンポジウム

日時:平成28年3月24日(木)
場所:茅ヶ崎市民文化会館

講師: **藻谷 浩介さん**

(株)日本総合研究所 主席研究員
(株)日本政策投資銀行 地域企画部 特任顧問(非常勤)
特定非営利活動法人 ComPus!地域経営支援ネットワーク 理事長(無報酬)

山口県生まれの51歳。平成合併前3,200市町村のすべて、海外72ヶ国をほぼ私費で訪問し、地域特性を多面的に把握。2000年頃より、地域振興や人口成熟問題に関し積極的に研究・著作・講演を行う。2012年より現職。近著にデフレの正体、第七回新書大賞を受賞した『里山資本主義(共に角川 One 7-721)、金融緩和の真(集英社新書)、しなやかな日本列島のつくりかた(新潮社、7名の方との対談集)。



第2回 ローカルファーストシンポジウム ~魅力あふれる「茅ヶ崎」のつくりかた~
全米住みたいまちNo.1 生活文化都市ポートランドから茅ヶ崎へ

日時:平成27年10月23日(金) 場所:茅ヶ崎市民文化会館 時間:18:00~20:00

講師: **松本 大地さん**

株式会社商い創造研究所 代表取締役

全米で「最も住みたい街No.1」に選出されたオレゴン州ポートランド市。世界中で注目されるその持続可能な街づくりをまとめた「最高の街をデザインする方法」を出版、数々の自治体の中心市街地活性化や、先端のショッピングセンター開発にも携わる松本氏より、定住人口、交流人口、地域経済循環拡大を実現し、人と街と高いの良好な仕組みづくりを伺います。

お問い合わせ先 ローカルファースト研究会ジャーナル編集部 〒253-0052 神奈川県茅ヶ崎市幸町5-8-103
FAX:0467-84-5610 メールアドレス localfirst@sun.cims.jp
URL http://www.local-first.info

茅ヶ崎から新しいライフスタイルの提案

ローカルファーストが
日本を変える 定価(本体1,800円+税)

ジェロントロジーの第一人者
東京大学高齢社会総合研究機構
秋山 弘子 特任教授 推奨

編者 ローカルファースト研究会
発行所 東海大学出版会
〒257-0003 神奈川県茅ヶ崎市栗原3-10-35
東海大学図書金庫内 TEL.0463-79-3921 FAX.0463-69-5087



全国書店にて販売中



2015年10月23日発行
茅ヶ崎ローカルファーストジャーナル第2号 ローカルファースト研究会発行 発行人 淺野真澄
本書はローカルファースト財団の事業としてローカルファースト研究会が発行しております。

2015
Vol.
2

茅ヶ崎
**ローカル
ファースト**
ジャーナル

「歩いて」「見て」「考えて」
新しい茅ヶ崎をつくりだす。

熱いメッセージいっぱいのライフスタイルマガジン!
**「ストリート」がまちを
変えていく。**

茅ヶ崎 ローカルファースト ジャーナル



歩いて
Walk Local
見て
See Local
そして 考えよう。ローカルファーストを!
Think Local First

【ジャーナル第2号の想い】

茅ヶ崎を駆け巡る歴史あるストリート。
そして、住民が必要として形成された商店街。
商店街は一つひとつの顔、一つひとつの商店で作られています。
代が変わり継承する人、茅ヶ崎に何かを求めて新しく移り住む人たち…
想いは様々ですが、このまちを愛し、まちのために何か出来ないかと、
日々格闘を続けている一人ひとりです。

ローカルファースト研究会は商店を応援しています。
それは事業者のみならずと共々考える、主婦の選択肢を増やす、
子ども達に教育をするという新しいまちづくりの切り口です。
一人ひとりが地域に優しい選択をしていけるように「ローカルファースト」
を合言葉にひとつになっていきましょう。

CONTENTS

【茅ヶ崎のローカルファースト12のお店からのメッセージ】
「自分のたのしいことをやる」ライフスタイルがローカルファーストなお店をつくる

【ローカルファースト・トークセッション】
ローカルファーストと茅ヶ崎ストリート文化

【浜見平で「ママたちの店づくり」がスタート】
第一回のディスカッション

【ローカルファーストの商店街が魅力のポर्टランド】
株式会社商い創造研究所代表取締役 松本大地
【将来を担う子供たちにローカルファーストを伝えるために】

【出版1周年記念シンポジウム「ローカルファーストが日本を変える」】
開催結果報告

Information

6月にホテルで開催された「まつりインハワイ」のレポート
本誌作成にご協力いただいた方々
ローカルファースト・シンポジウム開催案内



「ローカルファースト」という言葉には

- 人生を元気に楽しく幸せにする力があります。素敵なライフスタイルを教えてください。
- まちを明るく豊かにする力があります。商店街は活気づき人々の笑顔であふれます。持続可能な長寿社会が実現できます。
- 未来への夢を描き、希望を溢れさせる力があります。

次回予告 **第4回** ローカルファーストシンポジウム

日時:平成28年9月14日(水)
場所:茅ヶ崎市民文化会館

とやま かずひこ
講師: **富山 和彦** さん



株式会社経営共創基盤 (GPI) 代表取締役 CEO
オムロン株式会社取締役 びあ洲社外取締役
経済同友会副代表幹事 内閣官房まち・ひとしごと創生会議有識者 他

1960年生まれ、東京大学法学部卒、スタンフォード大学経営学修士(MBA)、司法試験合格。ポストコンサルティンググループ、コーポレートディレクション代表取締役を経て、2003年に産業再生機構設立時に参画しCOOに就任。解散後、IGPIを設立。数多くの企業の経営改革や成長支援に携わり、現在に至る。近著に「なせローカル経済から日本は起るのかG&Lの経済成長戦略」「ビッグチャンス」IGPIがビジネスプランニングのリアル・ノウハウ「選択と捨象」「地方消滅 創生戦略論」他

第3回 ローカルファーストシンポジウム あなたのライフスタイルが茅ヶ崎の未来を創る
—データから見えるまちの姿—

日時:平成28年3月24日(木) 場所:茅ヶ崎市民文化会館 時間:18:00~20:00

もたに こうすけ
講師: **藻谷 浩介** さん

(株)日本総合研究所 主席研究員 (株)日本政策投資銀行 地域企画部 特任顧問 (非常勤)
特定非営利活動法人 ComPus地域経営支援ネットワーク 理事長 (無報酬)

山口県生まれの51歳。平成合併前3,200市町村のすべて、海外72ヶ国をほぼ私費で訪問し、地域特性を多面的に把握。2000年頃より、地域振興や人口成熟問題に関し積極的に研究・著作・講演を行う。2012年より現職。近著に「アフレ」の正体、第七回新書大賞を受賞した里山資本主義(共に角川 One Te Wa 21)、金融緩和の真(集英社新書)、しなやかな日本列島のつくりかた(新潮社、7名の方との対談集)。

お問い合わせ先 ローカルファースト研究会ジャーナル編集部 〒253-0052 神奈川県茅ヶ崎市幸町5-8-103
FAX: 0467-84-5610 メールアドレス localfirst@sun.cims.jp
URL http://www.local-first.info

茅ヶ崎から新しいライフスタイルの提案

ローカルファーストが
日本を変える 定価(本体1,800円+税)

ジェントロロジーの第一人者
東京大学高齢社会総合研究機構
秋山 弘子 特任教授 推奨

編 著 ローカルファースト研究会
発行所 東海大学出版会
〒257-0003 神奈川県茅ヶ崎市赤名3-10-35
東海大学図書会館内 TEL.0463-79-3921 FAX.0463-69-5087



全国書店にて販売中



2016年3月24日発行
茅ヶ崎ローカルファーストジャーナル第3号 ローカルファースト研究会発行 発行人 浅野真澄
本書は「神奈川県地域商業ブランド確立総合支援事業」の支援をうけて発行しております。

茅ヶ崎

ローカル
ファースト
ジャーナル

2016
Vol.
3



話して
Talk Local

考えて
Think Local

そして 行動しよう。ローカルファーストを!
Act Local First

Local First

CONTENTS

【特集：ローカルファーストな「お店」がまちをつくっていく】

- ① 素敵なお店の表情を楽しむ茅ヶ崎まち歩き
- ② 茅ヶ崎は「ショップフロント」に魅力がある
- ③ 素敵なお店のショップフロントのお店に聞く
- ④ 歩くことが楽しくなるまちへ

【特集：ローカルファースト研究会「空き店舗プロジェクト」】

- ① 12月25日に浜見平商店会に「ローカルファースト」オープン!!!
- ② オープンまでのメイキング!!
- ③ ハンドメイド&リサイクルで事業をスタート!
- ④ 茅ヶ崎はクラフトの聖地

【完成しました。LOCAL FIRST MAP ぜひお使いください】

【交差点をデザインする!】
茅ヶ崎のストリート文化を発信する複合コミュニティ施設

【第2回ローカルファーストシンポジウム】

魅力あふれる「茅ヶ崎」のつくりかた 開催結果報告
【ローカルファースト研究会ポータルランド視察報告】

Information

ホノルル姉妹都市交流・姉妹都市締結一周年
本誌にご協力いただいた方々
ローカルファーストシンポジウム開催案内

【ジャーナル第3号の想い】

「get involved」傍観者にならず、主体的に関わること。
まちづくりは、人ごとではありません。理想やきれいなことを、
上から&会議室の中から話すのではなく、是非現場に参加してください。
それぞれの立場によって、出来ることは違うはずです…。
地域を優先する考え方は難しいことはありません。大手ナショナル
チェーンではなく地域の商店で買い物すること、地域のレストランで食事
をすること、地域の食材を使うこと、地域のアーティストを育てること…。
地域の誰かを応援することで、豊かな精神、豊かなライフスタイルは育ち
ます。住んでいるまちを良くしていくことは、自分達の楽しい老後、子ども
達の安全な未来にも繋がります。
大事なのは一人ひとりの「ローカルファースト」な、価値観と行動です。



「ローカルファースト」という言葉には

- 人生を元気に楽しく幸せにする力があります。素敵なライフスタイルを教えてください。
- まちを明るく豊かにする力があります。商店街は活気づき人々の笑顔であふれます。持続可能な長寿社会が実現できます。
- 未来への夢を描き、希望を溢れさせる力があります。

次回予告 **第5回** ローカルファーストシンポジウム

日時:平成29年2月16日(木) 場所:茅ヶ崎市民文化会館

講師: **古川 康造 さん**

高松丸亀町商店街振興組合 理事長 丸亀町不動産株式会社 代表取締役社長
高松ライフシステム株式会社 代表取締役



昭和32年香川県高松市丸亀町生まれ。立命館大学経営学部卒業後、大阪の商社勤務を経て25歳で家業を継ぐ。平成18年高松丸亀町商店街振興組合理事長就任。定期借地権を利用し土地の所有と分離を図るユニークな方法で、地域のコミュニティに依存した民間主導の再開発計画を立案、実践。少子高齢化社会に対応した新しい形の地方自治組織の創設を目指して中心市街地再生に向け日々、精力的に取り組んでいる。内閣官房まちづくり伝道師、内閣府中心市街地活性化推進委員会委員、経済産業省中小企業基盤整備機構タウンマネジメント事業に係る検討委員会委員、経済産業省タウンプロデューサー、福井県まちづくり指導者、新潟市まちなか再生本部アドバイザーなどを歴任。

今、最も注目されるまちづくりキーワード

第4回 ローカルファーストシンポジウム ローカル経済が日本をつくる
一地域との「共創」から見えてきた未来ー

日時:平成28年9月14日(水) 場所:茅ヶ崎市民文化会館 時間:18:00~20:00

講師: **富山 和彦 さん**

株式会社経営共創基盤 (IGP) 代表取締役CEO オムロン(海外取締役) びあ(海外取締役)
株式会社みちのりホールディングス取締役 経済同友会副代表幹事 内閣官房まち・ひと・しごと創生会議有識者 他

1960年生まれ。東京大学法学部卒。スタンフォード大学経営学修士(MBA)。司法試験合格。ボストンコンサルティンググループ、コーレイトディレクション代表取締役を経て、2003年に単産業再生機構設立時に参画しCOOに就任。解散後、IGPを設立。数多くの企業の経営改革や成長支援に携わり、現在に至る。近著に「なぜローカル経済から日本は悪くなるのか」とLの経済成長戦略、「ビッグチャンス」IGP流ビジネスプランニングのリアル/ノウハウ「選択と推察」地方落葉 創生戦略編、他

お問い合わせ先 ローカルファースト研究会ジャーナル編集部 〒253-0052 神奈川県茅ヶ崎市幸町5-8-103
TEL:0467-57-8100 FAX:0467-84-5610 メールアドレス localfirst@softbank.jp
URL: http://www.local-first.info

茅ヶ崎から新しいライフスタイルの提案
ローカルファーストが日本を変える 定価(本体1,800円+税)

ジェントロジーの第一人者
東京大学高齢社会総合研究機構
秋山 弘子 特任教授 推奨

編者 ローカルファースト研究会
発行所 東洋大学出版会
〒257-0003 神奈川県茅ヶ崎市元町3-10-35
東洋大学同窓会館内 TEL:0463-79-3921 FAX:0463-69-5087



全国書店にて販売中



2016年9月14日発行
茅ヶ崎ローカルファーストジャーナル第4号 ローカルファースト研究会発行 発行人 遠野真澄
本書は「神奈川県地域商業ブランド確立総合支援事業」の支援を受けて発行しております。



茅ヶ崎 ローカルファースト ジャーナル



やってみよう
Try Local
うごきだそう
Work Local

ローカルのために

For Local First

【ジャーナル第4号の想い】

茅ヶ崎だからつながれる！
「ローカルファースト」を合言葉に。

大事なものは、まず始めてみることに。
小さなトライ(やってみる)が、まちを巻き込み大きな流れを作っていく。
それは、スタートさせることでつながりや仲間が増えていくから。
同じ苦しみや、やりがいを持つ地域商店の経営者。
誰が勝つか、誰が商売敵かではなく、みんなで協力してできることは何なのかな？
お互いに刺激し合い、励まし合っていく事が、
結果的にはまちに、自分の商売にとってもプラスとなって帰ってきます。
オシャレな店、美味しい店、茅ヶ崎にしかないオリジナルの店。
それはみんなの誇りです。
まちを創る一人ひとりが地域商店を優先した選択を！
茅ヶ崎のまちのサポーターになりましょう！

CONTENTS

【特集：ローカルスーパーが茅ヶ崎を元気にする！】
○茅ヶ崎のローカルスーパー経営者4人によるワークショップ
○ママの声アンケート「ローカルスーパーへの期待」
○ローカルファーストによる共通価値の創造
松本大地さんから「地元スーパーのリーダーシップへの期待」

【特集：ローカルファースト研究会「空き店舗プロジェクト」】
○気づけばそこに新しいコミュニティがあった！
○ローカルファーストでつながる、ローカルファーストでひろがる
○想いを社会へつなげる人たち

【子どもが作る茅ヶ崎マップ】
○小学生×大学生×ローカルファースト研究会

【第3回ローカルファーストシンポジウム】
○「あなたのライフスタイルが茅ヶ崎の未来を創る」
開催結果報告

【歩いて、見て、考えて…そして発見！】
○藻谷浩介さんと行く「まち歩き in CHIGASAKI」

Information

- 茅ヶ崎・ホノルル姉妹都市交流報告
- 本誌にご協力いただいた方々
- 次回ローカルファースト・シンポジウム開催案内



茅ヶ崎ローカルファースト Information

**浜見平商店会は
みんなの居場所**

1日1回、外に出て、歩いて、おしゃべりして。
「私はここにいるよ、元気だよ」と
笑顔で確かめ合う。
ここは、あなたにとっても私にとっても、
居心地の良いストリートリビングです。

「ローカルファースト」という言葉には

- 人生を元気に楽しく幸せにする力があります。
素敵なライフスタイルを教えてください。
- まちを明るく豊かにする力があります。商店街は活気づき人々の
笑顔であふれます。持続可能な長寿社会が実現できます。
- 未来への夢を描き、希望を溢れさせる力があります。

第5回 ローカルファーストシンポジウム

**持続可能な新しいスタイルの再生まちづくり
～高松丸亀町商店街に学ぶ～**

日時:平成29年2月16日(木) 場所:茅ヶ崎市民文化会館

講師: **古川 康造 さん** 時間:18:00～20:00

高松丸亀町商店街振興組合 理事長 丸亀町不動産株式会社 代表取締役社長
高松ライフシステム株式会社 代表取締役

昭和32年香川県高松市丸亀町生まれ。立命館大学経営学部卒業後、大阪の商社勤務を経て25歳で家業を継ぐ。平成18年高松丸亀町商店街振興組合理事長就任。定期借地権を利用し土地の所有と分離を図るユニークな方法で、地域のコミュニティに依存した民間主導の再開発計画を立案、実践。少子高齢化社会に対応した新しい形の地方自治組織の創設を目指して中心市街地再生に向け日々、精力的に取り組んでいる。内閣官房まちづくり伝道師、内閣府中心市街地活性化推進委員会委員、経済産業省中小企業基盤整備機構タウンマネジメント事業に係る検討委員会委員、経済産業省タウンプロデューサー、福井県まちづくり指導者、新潟市まちなか再生本部アドバイザーなどを歴任。

**ローカルファースト研究会
高松丸亀町商店街視察**

シンポジウムの講師・古川康造さんが手がけた高松丸亀町商店街を視察に見てみようとする研究会メンバーで視察へ。商店街のアーケードや建築物のアイデア、スケールに圧倒され、明確なビジョンのもと推気強く街を再生する「人」の熱意に強く感銘を受けました。



次回
予告

ローカルファーストサミット in 茅ヶ崎 開催

日時:平成29年10月予定 【シンポジウム】【シェフズミーティング】など

詳細は後日WEBサイトでお知らせいたします。

お問い合わせ先

ローカルファースト研究会ジャーナル編集部 〒253-0052 神奈川県茅ヶ崎市幸町5-8-103
TEL:0467-57-8100 FAX:0467-84-5610 メールアドレス localfirst@softbank.jp URL http://www.local-first.info



2017年2月16日発行
茅ヶ崎ローカルファーストジャーナル第5号 ローカルファースト研究会発行 発行人 淺野貴遊
本書は「神奈川県地域商業ブランド確立総合支援事業」の支援をうけて発行しております。



茅ヶ崎

**ローカル
ファースト
ジャーナル**

熱いメッセージいっぱいライフスタイルマガジン!

**ローカルファーストが
「居場所」をつくる。**

「つながって」「楽しんで」「暮らす」
居心地の良いまちになる。

2017
Vol.
5



Living in Local Be Local Local First is my place



【ジャーナル第5号の想い】

地域と共に自分を楽しみながら生きる 自分たちのまちは自分たちでつくる

縁があって暮らし、働くまち、茅ヶ崎
受け入れられ、育てられ、見守られ…。だんだんと私もまちの人になってゆく。
自分のまちを知り楽しむこと。発信して仲間を作ること。
迷惑をかけながら関わり合うこと。
ナショナルチェーンではなく、地域のモノや店を優先して使うことは、
自分たちの生活、風景、未来を守るために「当たり前のこと」なのではないでしょうか。
ローカルファーストに暮らすことで、まちは豊かになります。
それは、自分にとっても子ども達にとってもハッピーなこと。

Live! Love! Local! みんなの好きな茅ヶ崎を、もっと素敵な茅ヶ崎に。

一人ひとりが地域に優しい選択を。
今までも、これからも。ずっとローカルファーストで生きましょう!

CONTENTS

【特集:「Local First」クロージングイベント】
○ ALOHA CHRISTMAS ～ウィッシュツリー～
○ 「ローカルファースト」次へつながる「カタチ」

【特集:ローカルファーストが「居場所」をつくる】
○ 366日の中で生まれた人のつながり(ワークショップ)
○ 「居場所」づくりの動きは広がりをみせている 文教大学修士課程 柴田尊菜
○ 「居場所は響き合うギャザリングスペース」 株式会社商い創造研究所 代表取締役 松本大地

【特集:浜見平商店会広場イベント「50回目の誕生会」】

【五感で感じるまち歩き】
○ 文教大学 山田ゼミ×ローカルファースト研究会
○ 「Local Firstはなぜ興味深いのでしょうか」 文教大学国際学部 山田修嗣准教授
【交差点をデザインする!】
○ 東海大学 学生発表 茅ヶ崎のストリート文化を発信する複合コミュニティ施設
【第4回ローカルファーストシンポジウム】
○ 「ローカル経済が日本を創る」開催報告

Information

○ 本誌にご協力いただいた方々
○ 第5回 ローカルファーストシンポジウム開催案内 / 高松市丸亀町商店街視察



「ローカルファースト」という言葉には

- 人生を元気に楽しく幸せにする力があります。素敵なライフスタイルを教えてください。
- まちを明るく豊かにする力があります。商店街は活気づき人々の笑顔であふれます。持続可能な長寿社会が実現できます。
- 未来への夢を描き、希望を溢れさせる力があります。



Fm yokohama 84.7

FMヨコハマ 毎週日曜日 午後3:50~



Local First for Tomorrow

ローカルファーストフォートモロー
好評放送中

DJ: 若林理紗
出演: 浅野真澄
毎週日曜日の午後3時50分から4時までの10分間、ローカルファーストなゲストを交えながら、お届けします。

CHIGASAKI LOCAL FIRST TRIAL

シェフズミーティング ~生産する人、料理する人、食べる人、みんなの想いが茅ヶ崎の「おいしい」を紡ぎだす~

日時:平成29年10月12日(木) 時間:18:00~20:00

場所:茅ヶ崎市コミュニティホール(茅ヶ崎市役所分庁舎6階)

基調講演 田村 なを子さん アメリカ オレゴン州ポートランドの自然食レストラン「Chef Naoko」シェフ

シンポジウム【パネリスト】 鳥海 勝さん ラ・ターブルド・トロミシェフ 熊澤 茂吉さん 熊鷹酒造株式会社 代表取締役
原 浩仁さん 株式会社九まや 代表取締役社長 伊藤 英世さん 茅ヶ崎伊藤園 代表

「CHIGASAKI LOCAL FIRST TRIAL」と題したイベントでは、ローカルファーストの観点で地元の食を考える講演会やシンポジウム(シェフズミーティング)の他、地域の魅力を発見する「ちがさきぐるぐるグルメ」、地域交流を目的とした「氣流甲LOCAL FIRST同窓会イベント」、「食のセミナー」などを市内各所で実施。地域の皆さんと一緒に、より実質的な取り組みを通して共に考え行動する機会になればと思います。

次回
予定

ローカルファーストとスポーツが健康なまちをつくる

キーワードは「交流」「スポーツ」「健康」。人々の豊かな交流がある地域で育まれる健やかな心と身体。そこから生まれる「まちの元気」を考えます。 ※企画・開催についての詳細は別次WEBでお知らせします

お問い合わせ先

ローカルファースト研究会ジャーナル編集部 〒253-0052 神奈川県茅ヶ崎市幸町5-8-103
TEL:0467-57-8100 FAX:0467-84-5610 メールアドレス localfirst@softbank.jp
URL <http://www.local-first.info>



2017年10月12日発行
茅ヶ崎ローカルファーストジャーナル第6号 ローカルファースト研究会発行 発行人 浅野真澄



Eat Local Choose Local Do my Local First

【ジャーナル第6号の想い】

自分の住むまちの魅力って何ですか まちは誰が創っているんでしょう

「Local First」は自分のまちについて考えること、地球に優しい選択をすること、地域で経済を回すこと、そしてふるさとの想いを引き継ぐこと、まちは創っているのは、そこで暮らす一人ひとり、一人ひとりのいくつもの選択がまちなを創っているのです。意識しなくても「Local First」を実践している人もいます。でも、今「Local Firstで行きましょうよ!」と、誰かが大きく声をかけ、早い、安い、便利に引っ張られすぎた「私たち消費者の価値観」を、ローカルに引き戻す必要があるのではないのでしょうか。どこかのまちに行っても金太郎アメみたいに同じ景色、同じモール、同じチェーン店ではつまらない。意識してローカルを選択していきましょう。ローカルをファーストしやすい環境を作りましょう。地域の誇りを育てましょう。大好きなまちの景色を守っていくのは、皆さんの心がけ一つです。

LOCAL FIRST TRIAL

ローカルファーストトライアル

ローカルファーストジャーナル1号誌で取り上げた「EAT LOCAL」を、今回改めて、まちながで様々な食のトライアルを仕掛けてみました。1つ1つのTRYは小さくても一人ひとりの意識がLOCALに向けば、それは大きなうねりになる。そんな想いを込めて。

【特集：EAT LOCAL～まちなかシェフズミーティング】

- まちなかシェフズミーティング①
消費者の「選ぶ力」がまちなを育てる
- アメリカ・ポर्टランド第「ローカルファースト」実践者の言葉
「教育」が育てる価値観
自然食レストラン「Chef Naoko」シェフ 田村なを子
- まちなかシェフズミーティング②
「一緒に何かやりましょうよ」茅ヶ崎ならではのコラボ感覚
- まちなかシェフズミーティング③
「もったいない」と「ひと手間」がチャンスを生み出す
- シェフズミーティングが美食都市をつくれたサン・セバスティアン
株式会社高い創造研究所 代表取締役 松本大地
- まちなかシェフズミーティング④
子ども達に生き方を見せて「地域の力になりたい」
- まちなかシェフズミーティング⑤
自分が飾りたい花、食べたいもの、そして何ができるか

【私たちの Small DO】

- 【第5回ローカルファーストシンポジウム】
「持続可能な新しいスタイルの再生まちづくり」開催報告

【Information】

- ドイツ・フライブルクのまち歩き～ヨーロッパ視察より
- 本誌にご協力いただいた方々





「ローカルファースト」という言葉には

- 人生を元気に楽しく幸せにする力があります。素敵なライフスタイルを教えてください。
- まちを明るく豊かにする力があります。商店街は活気づき人々の笑顔であふれます。持続可能な長寿社会が実現できます。
- 未来への夢を描き、希望を溢れさせる力があります。

第7回 ローカルファーストシンポジウム
スポーツが健康なまちをつくる

日時：平成30年2月21日（水）時間：18:00～20:00
場所：茅ヶ崎市コミュニティホール（茅ヶ崎市役所分庁舎6階）

基調講演 **奥寺 康彦氏** 株式会社横浜フリスportsクラブ（横浜FC）会長

【パネリスト】

- 眞壁 深氏** 株式会社湘南ベルマーレ代表取締役会長
乃羽 ひとみ氏 湘南舞台芸術振興協会常任理事
杉山 美沙子氏 バーム・インターナショナルテニス・アカデミー 校長

第7回となるシンポジウムは「スポーツが健康なまちをつくる」と題して、基調講演に、日本人では第1号のプロサッカー選手である奥寺康彦氏をお招きします。ドイツの環境や経緯、現在取り組まれている横浜FCスポーツクラブの活動などから地域スポーツの意義をお話いただきます。また高齢化、成熟化していく社会で、スポーツ施設がスポーツのみならず、健康や文化の交流拠点として役割を広げていく事業性を地域の有識者の方々と語り合う「パネリアスセッション」も企画いたしました。この機会に誰やなまちづくりについて皆様と一緒に考えることができましたら幸いです。

次回
予定

ローカルファーストが文化をつくる
地域の「心」として受け継がれてきた祭り、ライフスタイルを豊かに満たす音楽やアート、まちに育つ文化からローカルファーストを考えます。

日時：平成30年10月24日（水）
場所：茅ヶ崎市民文化会館
※ 企画・開催についての詳細は
順次WEBでお知らせします

お問い合わせ先 ローカルファースト研究会ジャーナル編集部 〒253-0052 神奈川県茅ヶ崎市幸町5-8-103
TEL:0467-57-8100 FAX:0467-84-5610 メールアドレス localfirst@softbank.jp URL <http://www.local-first.info>
ローカルファースト研究会の活動はフェイスブックでも発信しています。
<https://www.facebook.com/LocalFirstInfo/>



2018年2月21日発行
茅ヶ崎ローカルファーストジャーナル第7号 ローカルファースト研究会発行 発行人 浅野真澄

茅ヶ崎ローカルファースト Information

【言葉マガジン、取材って面白い!】

今回のジャーナルのテーマは健康とスポーツ。前回のシェフズミーティング同様、モノコトから入りヒトへ行き過ぎ、最後は一人ひとりの言葉が鏡の目のように繋がります。また茅ヶ崎に詳しくなってきた……! 地域を盛り上げる草の根取材、ローカルファーストジャーナルづくりにご興味ある方は是非、ご連絡ください。取りも付て欲しいテーマ、人、団体等の情報もお待ちしております。

ローカルファースト研究会
神奈川県庁に
黒岩知事を訪問

2018年1月29日、神奈川県黒岩知事にローカルファースト研究会の活動報告を行うため神奈川県庁の知事室を訪問しました。第7回シンポジウムの「スポーツが健康なまちをつくる」は知事が提唱する「楽病」にもつながるテーマであり、大変興味をもっていただきました。今後の神奈川県内での展開もご期待ください。



茅ヶ崎

Local First

2018 Vol. 7

ローカルファーストジャーナル

「気軽に」「楽しく」「元気になる」が健康なまちづくりのキーワード。

熱いメッセージいっぱいのライフスタイルマガジン!
ローカルファーストでスポーツコミュニティを育む。

WEBはこちら ▶

Take your time
Take your ways
Take your
Local First attitude

【ジャーナル第7号の想い】

「する、見る、支える」

スポーツとの関わり方はみんなそれぞれ自分らしく。

「自分の身体は一つしかないから」

「最後まで自分の足で歩きたいから」

まずは遊びから、まずは生活の中から、

集まって、触れ合って、楽しんで

気軽に身体を動かしてみる。

心を解放して、みんなと一緒に元気になる。

ローカルファーストコミュニケーションが健康なまちをつくります。

CONTENTS

ローカルファーストとスポーツが健康なまちをつくる

「スポーツ」「健康」を切り口に、プロスポーツからまちのコミュニティ、そして地域の繋がりに文化や教育にも視点を広げて言葉を伺いました。共通する想いは「楽しむ」こと。地域で気軽にスポーツを楽しみながら楽しく健康的なまちづくりを考えます。

【特集1：ローカルファーストとスポーツが健康なまちをつくる】

① 「気軽に」「楽しく」「本物と繋がる」それが地域に根ざすスポーツクラブを育てるカギ

② スポーツを通してまちのコミュニケーションをつくる

③ キーパーソンに訊く

【ローカルファーストを「学問」へ!】

○ 文教大学 山田ゼミ×ローカルファースト研究会

【公園とスポーツとまちづくり】株式会社鹿嶋創造研究所 代表取締役 松本大地

【特集2：ローカルを編集する!つながる「まちコトバ」】

○ 「このまちに住んでよかった」ローカルファーストのヒントがここに!

【まちなかシェフズミーティングのその後】

【茅ヶ崎ローカルファーストトライアル】

○ 「シェフズミーティング」開催結果報告

【Information】

○ スポーツや芸術が融合するまちづくり

○ 本紙作成にご協力いただいた方々

○ 神奈川県庁に黒岩知事を訪問



地域の
団結力と
繋がり

毎年、海の日に茅ヶ崎の大祭「浜降祭」が開催されます。浜降祭は昭和53年に神奈川県無形民俗文化財に指定され、昭和57年には「かながわのまつり50選」にも選ばれた、茅ヶ崎海岸に茅ヶ崎、寒川の各神社の神輿が集結する晩の祭典です。早朝にもかかわらず、神事を終えた何十臺の神輿が海に入る姿(=みそぎ)を見に来る観客で砂浜が埋め尽くされます。

「ローカルファースト」という言葉には

- 人生を元気に楽しく幸せにする力があります。素敵なライフスタイルを教えてください。
- まちを明るく豊かにする力があります。商店街は活気づき人々の笑顔であふれます。持続可能な長寿社会が実現できます。
- 未来への夢を描き、希望を溢れさせる力があります。

第8回 ローカルファーストシンポジウム 『新しいワークライフスタイルを実現する茅ヶ崎資本主義へ』

日時:平成30年10月24日(水) 時間:18:00~20:00
場所:茅ヶ崎市民文化会館

基調講演 柳澤 大輔氏 面白山人カヤック代表取締役CEO

第8回ローカルファーストシンポジウムで講師をお願いするのは、歴史ある鎌倉の地で「地域資本主義」という新しい文化づくりをされている面白山人カヤックの柳澤大輔さんです。「鎌倉資本主義」「面白山人カヤック」「カマコン」の柳澤さんと感度の高い方は大きくならず、様々なメディアにも取り上げられて、今話題のまちづくりに関心のある方は今の暮らしや仕事をより豊かにするため、そして持続可能なライフスタイルやコミュニティを実現するために、「鎌倉資本主義」を推進しています。これはお金では測れない地域の価値「豊かさ」を再定義する新しい資本主義のカナダです。

お問い合わせ先 ローカルファースト研究会ジャーナル編集部 〒253-0052 神奈川県茅ヶ崎市幸町5-8-103
TEL:0467-57-8100 FAX:0467-84-5610 メールアドレス localfirst@softbank.jp URL <http://www.local-first.info>
ローカルファースト研究会の活動はフェイスブックでも発信しています。
<https://www.facebook.com/LocalFirstInfo/>



2018年10月24日発行
茅ヶ崎ローカルファーストジャーナル第8号 ローカルファースト研究会発行 発行人 浅野真澄

茅ヶ崎ローカルファースト Information

茅ヶ崎文化、夏の風物詩 「浜降祭」の魅力 どっこいどっこい

地区ごとに色分けされたタオルを頭に巻いた担ぎ手衆による、相州神輿独特の「どっこい、どっこい」「どっこい、そーりゃ」という掛け声リズム。このリズムがはじめて参加する私たちを一瞬にして担ぎ手に仕立ててくれます。

午前2時に出発(宮出)して約3時間の海までの道中では、真っ暗な深夜の間から徐々にオレンジ色に染まる朝焼けを眺め、最後は照りつける真夏の朝陽の中を海へと向かいます。そしてみそぎを終えた神輿は、地域住民の安寧を祈念しまちを練り歩きます。普段は車で通り過ぎるだけで気がつかないような路地を、神輿を担いで数時間かけてまわり、その道の途中、地元有志の方々によって用意された店舗や路地裏のスペースで休憩をとります。休憩所では冷たい飲み物や食事と神輿と担ぎ手たちの疲れを癒してくれます。自宅の前で神輿の到来を待っている方達の実顔を見ると、地域の皆さんがいるからこそ成立するお祭りと実感します。祭りは地域の活性化や繋がりに重要な要素であり、今後も伝承し続けなければならない文化であることを強く感じました。

(ローカルファースト研究会 小平めぐ美)

LOCAL FIRST VISION

ローカルファーストビジョン

「ローカルファーストジャーナル」8号誌に至るまでローカルファースト研究会の活動を応援して下さいまして誠にありがとうございます。私たちが具体的なローカルファースト活動を始めて4年になりますが、茅ヶ崎では有り難いことに認知され、浸透し始めております。また近年はラジオ、WEBなどメディアで取り上げていただく機会も増え、他の地域からも「ローカルファースト」の運動を進めたいというお声を頂戴するようになりました。

当初、「日本全国にローカルファースト運動を広めて地方都市が元気になること」が私たちの目標でした。今後はどの地域でもローカルファースト活動を広げていけるよう、いくつかの事業においては持続可能な「収益化」を目指しながら活動を進めて参ります。今後も地域の皆様の声をひろい、社会実験を重ねながら、まちに必要なものを提案していければと思いますのでご支援賜りますようお願い申し上げます。

Local First

2018 Vol. 8

茅ヶ崎
ローカルファースト
ジャーナル

「自分」「まち」「人生」を楽しむ。

熱いメッセージいっぱいのライフスタイルマガジン!
文化とライフスタイルがつくる
ローカルファーストなまち。

Life with Culture Life with Local Local First makes our future

CONTENTS

ローカルファーストが文化をこくる

生活を向上させるものを文化といいます。ローカルファースト研究会は茅ヶ崎のライフスタイルと共にある文化について考えてみました。

【第8回ローカルファーストシンポジウム講師対談】

- 「楽しく生きる人を増やす」地域資本主義は新たな価値観
面白法人カヤック 代表取締役CEO 柳澤大輔

【特集：ローカルファーストが文化をつくる】

- ① 自由なライフスタイルで茅ヶ崎を映画のまちにする
- ② 地域との信頼関係こそ、「町の書店が生きる鍵」
- ③ 「幻想の茅ヶ崎」に見る茅ヶ崎の磁力、気質…湘南サウンドとは？
- ④ ロコミと周波数が生み出す茅ヶ崎路地裏コミュニティ

【茅ヶ崎は多士済々神奈川新聞でもっと発信を!】

神奈川新聞社 代表取締役社長 並木 裕之

【ローカルファースト培養への期待】

株式会社あい創産研究所 代表取締役 松本大地

【地域文化を大切にしたい大岡公!大岡祭は市民の誇りを育む!】

【より茅ヶ崎らしい通りへ!雄三通りで生み出される新しい文化の仕掛人】

- 雄三通りスマイルプロジェクトの試み

【茅ヶ崎 Local Firstモデルの分析 ～ローカルファーストを「学問」へ!】

- 文教大学 山田ゼミ×ローカルファースト研究会

【私たちの Local First DO】

【第7回ローカルファーストシンポジウム】

- 「スポーツが健康なまちをつくる」開催報告

【Information】

- フランス・アンジェ・ボルドー・ピアリッツ のまち歩き

- 本紙作成にご協力いただいた方々

【ジャーナル第8号の想い】

文化とライフスタイル

それはまちの魅力になり、まちの活力の源になっています

新しい豊かさの物差しは地域の資本にあり、わたしたち一人ひとりが見つめ直し

磨き上げて行けば地域の未来を描くことができる

豊かな文化があるから豊かな暮らしができる

そして、ライフスタイルが豊かだから新しい文化が生まれる

ローカルファースト研究会は豊かさを追求しています

文化の先にあるもの、それこそが豊かさでありローカルファーストです

ローカルファーストを実践する



ワークショップ・・・地元の飲食店、商店街を代表する方たちと、食や消費という観点でそれぞれの立場を通じた意見交換を、また地域の子供たちとは、茅ヶ崎をよく知り、深い理解と愛着で暮らす大切さと考えるワークショップを地元の大学生と一緒に開催しました。

ローカルファースト教材作り・・・子どもたちのワークショップから展開した「教材作り」は、楽しく地域を知ってローカルファーストを考えるきっかけにするツールとして文教大学の学生と一緒に取り組んでいます。

ぐるぐるグルメ・・・まち歩きに「食」をプラス。茅ヶ崎市内の飲食店を訪れ、店主のこだわりを聞きながら自慢の1品を一口サイズで食べる企画です。身近なのに知らない茅ヶ崎の味の発見、お店の魅力や想いを改めて知り「地元の店」を選ぶ消費行動へと繋げる目的があります。

五感で感じるまち歩き・・・日頃、素通りするまちの中を、視点を変えて歩くといったところで新たな魅力の発見につながります。この活動では「五感」を意識して、まちの雰囲気自身の感覚で捉え、ワークシートに文字化する、というスタイルのまち歩きを実施しました。



ローカルファーストを実践する 浜見平商店会空き店舗活用事業「ローカルファースト」



「LOCAL FIRST」の店は、ローカルファースト研究会が「神奈川県地域商業ブランド確立総合支援事業」の支援を受け実施した事業の一つです。

高齢化が進み、活力を失いつつある地域の商店会において、リサイクル商品の委託販売や地元の手芸・クラフト作家への棚貸し等の商売を「媒介」に、「地域の人が集まる交流拠点」を創り、「賑わい」を生み出し、地域が活性化していくことを目的とした「実験SHOP」です。

ローカルファーストが生み出す効果

まちに魅力ある個店が増えてくる
多世代の交流が活発になる
地域で経済が健全に回るようになる
将来の設計ができて、夢を持つことができる
将来に不安がなくなることで、今を豊かに
暮らしていくことができる
まちに活力が創られる
まちに笑顔が溢れる



不安がなく、生きがいのある暮らしができること = それが本当の豊かさ

その豊かな暮らしは、「ローカルファースト」な価値観を持った
市民によって達成されていくと考えます

浜見平商店会空き店舗活用事業「ローカルファースト」

～ローカルファースト研究会の活動紹介



「LOCAL FIRST」の店は、社内外の有志により組織されるローカルファースト研究会が「神奈川県地域商業ブランド確立総合支援事業」の支援を受け実施している事業の一つです。

高齢化が進み、活力を失いつつある地域の商店会において、リユース商品の委託販売や地元の手芸・クラフト作家への棚貸し等の商売を「媒介」に、「地域の人が集まる交流拠点」を創り、「賑わい」を生み出し、地域が活性化していくことを目的として始めた「実験SHOP」です。

浜見平商店会空き店舗活用事業「ローカルファースト」

企画～開店準備

「交流」のターゲットは団地に住む高齢者だけでなく、子どもたち、家族などの「多世代」。商品・サービス・企画を通じて、いろいろな世代や性別の人が繋がり、コミュニケーションを図り、新しい「何か」が生まれる場所となることを目指しました。



また、地域の中で持続的に人が集まる店にするためには、「主婦のニーズ、目線」が大切であると捉え、企画段階で地域の子育てママによる100人ディスカッションを実施。

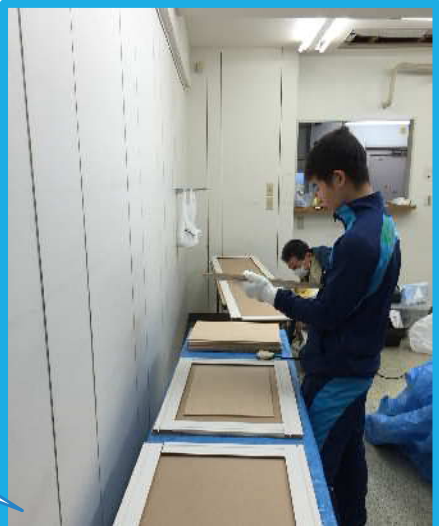
開店準備は、研究会メンバーの他に地元の大学生にも協力を得てオープンを迎えました。(2015年12月25日オープン)

浜見平商店会空き店舗活用事業「ローカルファースト」



ママたちの声を集めて
「どんな店が地域に必要なか」
を考える

店の入り口、顔になる
ファザードも地元建築学部
の大学生が作りました



浜見平商店会空き店舗活用事業「ローカルファースト」



営業は、朝10時～16時(木・日曜定休)。

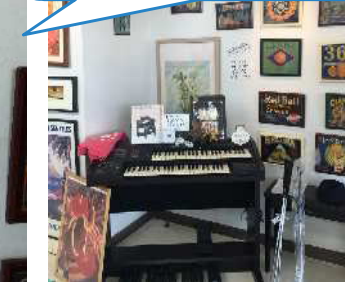
運営は、ローカルファースト研究会の代表者が基本的に店主として行っています。2016年7月からは、茅ヶ崎市の生涯現役応援窓口と連携し、有償のボランティアスタッフを雇用しました。多様性のある働き方や働く場所をつくることも目的のひとつです。

【取り扱い】

- ・手工芸品販売の「棚貸し」(500円～2000円/月)
- ・リサイクル品の委託販売
- ・NPO団体との共催による「古本市」「がらくた市」
- ・クラシファイドによる情報発信、顧客ニーズのサポート
- ・シーズンイベント(クリスマス、バレンタイン、ハロウィン)
- ・手芸教室 など

浜見平商店会空き店舗活用事業「ローカルファースト」

個性的な商品の数々。
地元産、作り手の想い、
この店に来るまでの物語
が会話の糸口に。



浜見平商店会空き店舗活用事業「ローカルファースト」



「PA'INA」（パイナ＝ハワイ語で集まる）
手作りサロンを始めました。いつもよりゆっく
りと会話を楽しみながら和気あいあい。

NPO法人
「もったいない
JAPAN」と共催
の古本市は、毎
月恒例の
人気イベント。
これを目当てに
必ず立ち寄る常
連さんも多数。



浜見平商店会空き店舗活用事業「ローカルファースト」

Local First

浜見平商店会広場イベント

団地がふるさとだった
商店街があそび場だった

なつかしの
浜見平団地・商店会の
写真を募集中!

写真の投稿・お申し込みは
10月15日(土)まで
くまの里で100円特価
お申し込み

楽しいイベントいっぱい
皆様おさそいあわせて
お出かけください

50回目の誕生日会

会場: 浜見平商店会及び店前広場

平成28年
10月15日(土)
10:00~16:00

心かき、なつかしい暮らしのセピア色の写真展
※参加方法: 浜見平自治会・ローカルファーストにて写真の募集を希望していただきます

「心かき、なつかしい昭和のお遊び」
～大人も子供も一緒に楽しめる～
※このイベントは、浜見平自治会・商店会が主催です

「さんよ祭り」
～ 浜見平大蔵堂(現・浜見平)～

「フリーマーケット」
※会場: 浜見平自治会事務所(〒0467-3614)5

「イベントセール」 ノードワゴン
※会場: 浜見平自治会事務所(〒0467-3614)5

お問い合わせ先
ローカルファースト研究会事務局
〒0467-5701 03

主催: 浜見平自治会・ローカルファースト研究会・浜見平商店会
後援: 幸ヶ崎市

商店会(街)活性化を目的の一つとしている浜見平での「空き店舗事業」。地域でのつながりをひとつの具体的な形として記憶に残すこと、またそれを契機により商店会が元気になることを目的に、イベントを実施しました。

「50回目の誕生日会」

ローカルファースト研究会
浜見平商店会・浜見平自治会による共催

浜見平団地50周年を振り返り、懐かしみ、世代を超えて楽しみ、未来の浜見平に繋ぐイベントとしました。当日は天候にも恵まれ、約4000名の来場で賑わいました。

浜見平商店会空き店舗活用事業「ローカルファースト」



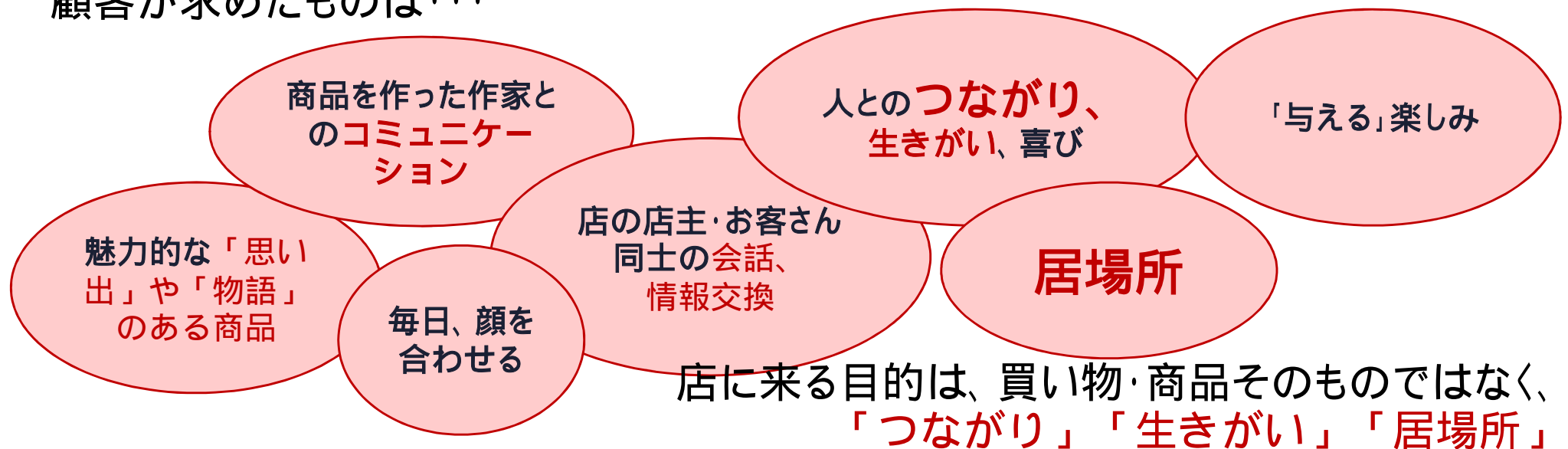
地元の方に提供して貰った「セピア色の写真展」では、懐かしい昔の様子に話が盛り上がり、けん玉、ベーゴマ、フラフープ...昭和の遊びコーナーはこども以上に大人がエキサイト。



浜見平商店会空き店舗活用事業「ローカルファースト」

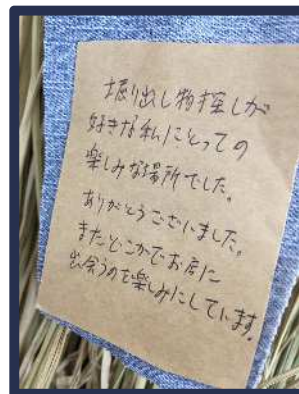
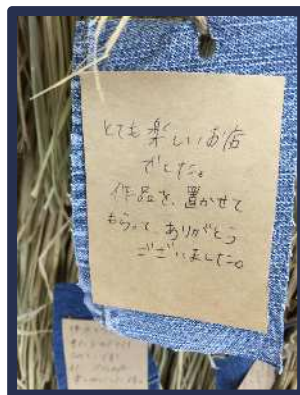
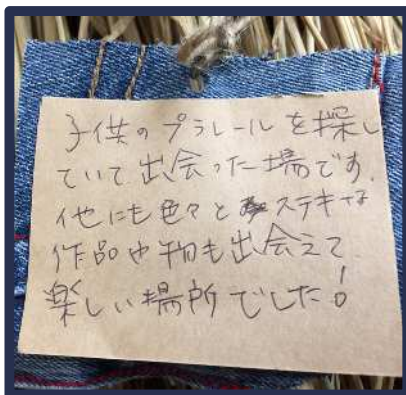
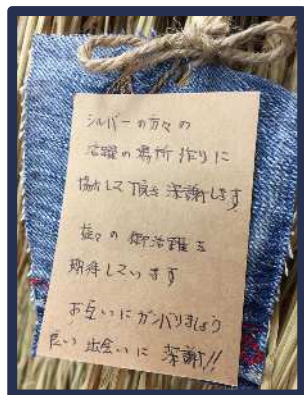
1年間の店舗運営で見出したもの

2015年12月オープンし、その後団地に住む住民を中心に、徐々に人が集まりはじめ、春を迎える頃には、1日平均80～100名前後の来店がカウントされ始めました。顧客が求めたものは…



浜見平商店会空き店舗活用事業「ローカルファースト」

建て替えのため、解体工事が始まるスケジュールに合わせて、ローカルファーストの店は2016年12月24日で閉店。これまでの経験、気づきをノウハウとしてまとめ、標準化する活動に取り掛かっています。これは、地域に根差す多世代型交流拠点となり得た結果を全国に展開することで、「元気なまち」が増え、「元気な日本」になると考えます。



現在、店内では利用してくれたお客さん、クラフト作家、ボランティアスタッフから「この店があなたにとってどんな店だったか」というテーマでメッセージを募っています。

